

# びわ湖青少年の家 +Active Biwako Center



## 学校団体 利用のしおり

この冊子では、学校団体が実施することの多いプログラムを選んで解説をしています。  
ここに解説のないプログラムについては、施設へお問い合わせください。

« 施設のお問い合わせ »

### びわ湖青少年の家 +Active Biwako Center

〒520-1121

滋賀県高島市勝野 1523-1

TEL 0740-36-1108 FAX 0740-36-1477

MAIL [info@biwako-activecenter.com](mailto:info@biwako-activecenter.com)

HP <http://biwako-activecenter.com/>

受付時間 9:00 ~ 17:00

#### 施設運営会社

株式会社 linkworks (リンクワークス)

〒650-0034

兵庫県神戸市中央区京町 79 番地 日本ビルヂング 704

TEL 078-327-6033 FAX 078-327-6034

<http://www.linkworks.co.jp/>

## 目 次

---

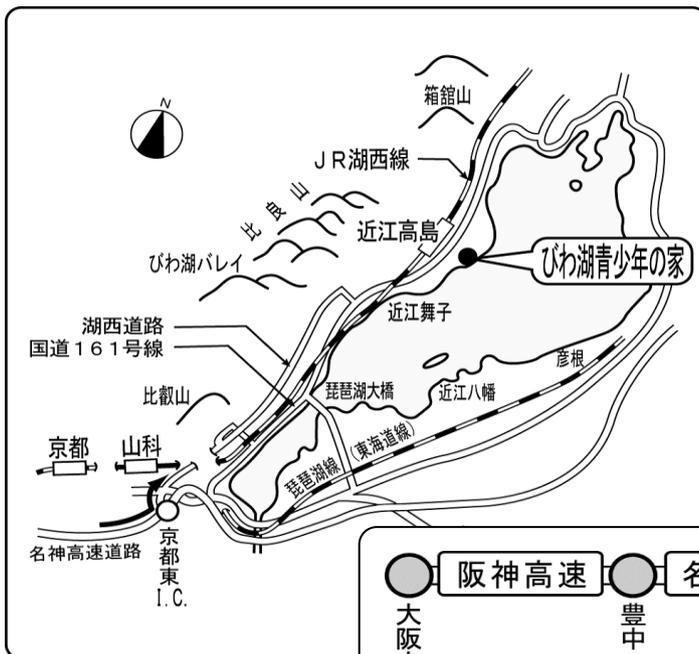
びわ湖青少年の家とは	P.2
申込手続き及び精算方法について	P.3
料金表	P.4～
利用の仕方・諸注意	P.6～
食事・弁当・野外炊事について	P.12～
館内図	P.14
食堂見取り図	P.15
シーツの使い方・たたみ方	P.16
カッタープログラムの説明	P.17～
カヌープログラムの説明	P.21～
いかだ作りの説明	P.23～
若狭塗り箸作りの説明	P.25
まが玉作りの説明	P.26
野外炊事（カレーライス）の説明	P.27～
提出書類の記入例	P.29～
他施設のご案内	P.36～

# びわ湖青少年の家とは

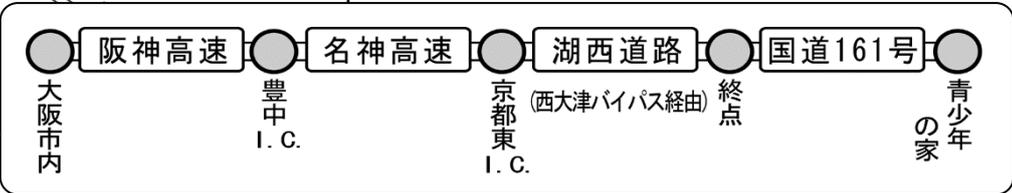
びわ湖青少年の家は大阪から約1時間40分。敷地の目の前には琵琶湖、後ろには比良山系が広がる湖西の高島市勝野に位置しています。また、施設の横には白砂青松の浜「萩の浜」が広がり、四季を通じて様々な活動を体験することができます。青少年が共同生活をしながら野外活動、スポーツ、レクリエーション、研修などの活動を通じて、友情を深め、社会性を身につけ、創造的な活動力を高めるための青少年育成施設です。

## [アクセス]

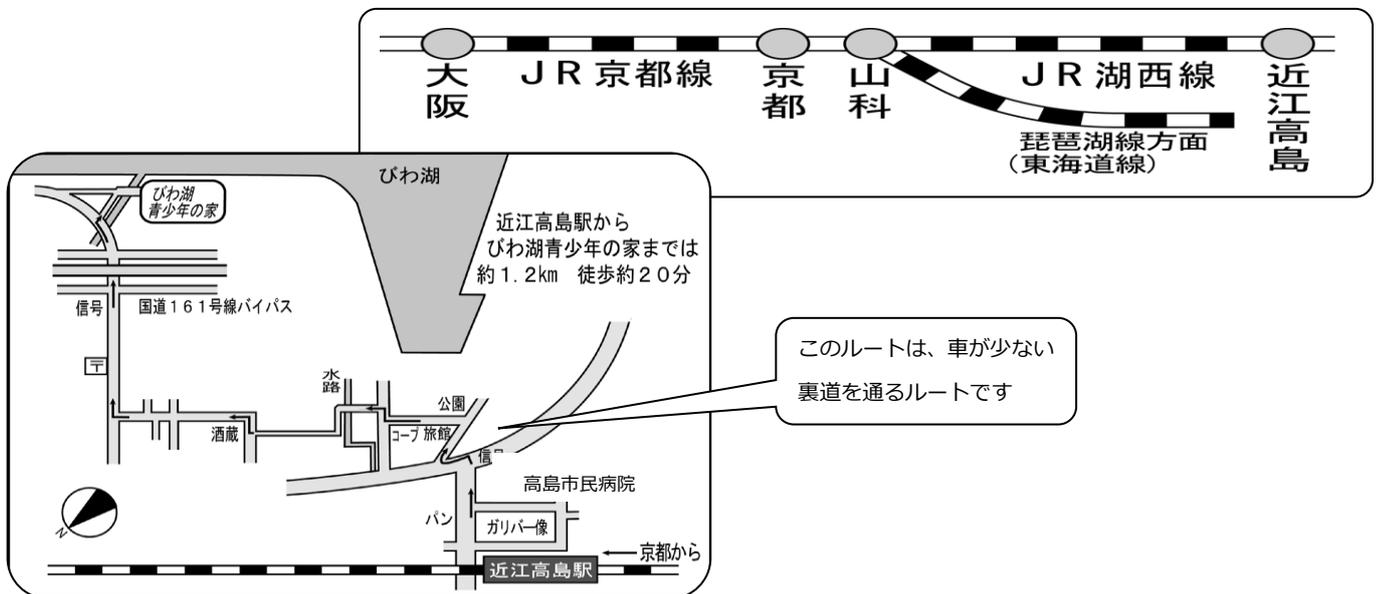
- ◎ 車→大阪市内より約1時間40分



名神高速道路、京都東出口から湖西道路、161号を経てバイパス勝野ランプ下車。勝野ランプ下車後、すぐの信号を右折、萩の浜手前に施設案内の看板があります。



- ◎ 電車 JR大阪駅から約1時間40分 (新快速電車1時間20分+徒歩20分)



## 申込み手続き及び精算方法について

### 予 約

#### 【予 約】

- ・予約は、びわ湖青少年の家までお問い合わせください。  
お問い合わせは、9:00～17:00 にお願いいたします。  
また、びわ湖青少年の家のホームページでも予約状況の確認ができます。
- ・ご予約後、提出書類一式を FAX・メール・郵送のいずれかでお送りします。  
提出書類一式は、ホームページよりダウンロードしていただくことも  
できます。

### 下 見

#### 【下 見】

- ・下見が必要な場合は、下見日時を事前にご連絡ください。
- ・日程案等がございましたら、ご持参ください。

### 書類の提出

#### 【書類の提出】

- ・下記必要書類を、提出期限までにご提出ください。
    - \* 様式 1 「使用申込書」・・・ご利用の 1 ヶ月前まで
    - \* 様式 2 「食事申込書」・・・ご利用の 1 ヶ月前まで
    - \* 様式 3 「利用日程表」・・・ご利用の 1 ヶ月前まで
    - \* 様式 4 「部屋割り表」・・・ご利用の 2 週間前まで
    - \* 様式 5 「アレルギー対応シート」・・・ご利用の 2 週間前まで
    - \* 様式 6 「利用者名簿 兼 乗船名簿」・・・ご利用当日まで
    - \* 様式 7 「食堂座席表」・・・ご利用当日まで
  - ・提出は FAX (0740-36-1477) ・メールのどちらかでお送りください。
  - ・同日程で他団体が利用される場合は、申込手続き後、他団体と利用調整の  
うえ、こちらから調整結果（部屋割り・食事時間・入浴時間・付帯設備  
使用時間など）を連絡いたします。
  - ・様式 5 と 7 に関しましては、必要な場合のみで結構です。
  - ・団体で作成された「**しおり(1部)**」を、実施前日までに郵送で青少年の家  
までお送りください。
  - ・カッターを利用される場合は、事前に「**カッター座席表**」をしおりと一緒に  
お送りください。
- ◆ご利用 1 週間前
- ・6 食以上の食数変更がある場合は、必ずご連絡ください。
  - ・ご利用 1 週間を切ったの食数変更は、最大 5 食までとなります。  
(食数変更に関して、詳しくは P.13 をご確認ください)

### 打ち合わせ

#### 【当日打ち合わせ】

※当日、人数に変更が出た場合は、到着までにご連絡ください。

- ・ご入所後、受付にて打ち合わせをおこないます。
  - \* 利用人数・食数・日程の確認と名簿のご提出
  - \* 施設利用における注意事項 等
- ・打ち合わせ時の当日食数変更はお受けできないことがあります。  
(食数変更に関して、詳しくは P.13～をご確認ください)

### 精 算

#### 【精算等について】

- ・退所日にお支払いください。なお利用後一週間以内であれば銀行振込による  
お支払いもできます。  
ただし、**振込手数料は学校団体のご負担**をお願いします。
- ・領収書は、児童・生徒と教職員用・その他用（カメラマン、看護師など）に  
分けて発行することができます。利用当日入所打ち合わせ時にスタッフに  
その旨をお伝えください。  
お振込みの場合は「請求書」を発行いたします。

## 料 金 表 (料金は、全て税別)

### 【施設使用料】

区 分	1泊2日	施設使用料および日帰り利用料
	15:00 ~ 翌10:00	10:00 ~ 15:00
幼・小・中・高校	1,500円	300円
学生	2,000円	500円
成人	3,000円	500円

※ご利用初日の15:00以前および最終日の10:00以降に施設を利用(昼食含む)される場合は、それぞれに施設使用料が必要です。

### 【食事代】

食 事	区 分	朝 食	昼 食	夕 食	合 計
		幼・小・中・高校	500円	600円	900円
学生		600円	700円	1,000円	2,300円
成人		600円	700円	1,000円	2,300円
自炊材料	焼きそば400円・カレーライス600円・カレー&サラダ800円				
弁 当	唐揚げ弁当・ハンバーグ弁当・豚生姜焼き弁当 500円				

### 【補食費】

パン		パックジュース(200ml)		アイス	
アンパン	130円	オレンジ	120円	バニラ	120円
デニッシュ	130円	アップル	120円	モナカ(バニラ)	130円
メロンパン	130円	グレープ	120円	みぞれ	120円

### 【プログラム費】

カッター	1人・1プログラム約3時間	1,000円	
ヨット	1人・1プログラム約2時間	1,000円	
カヌー	1人・1プログラム約2時間	500円	
いかだ作り	1人・1プログラム約2時間	500円	
薪 代	太1束(野外炊事・キャンプファイヤー・クラフト)	600円	
薪 代	細1束(野外炊事・キャンプファイヤー・クラフトなどの炊きつけ用)	300円	
炭 代	木炭 3kg	600円	
プロジェクター使用料	1時間	300円	
付帯施設使用料			
大研修室使用料	1時間(準備~片付けまで)	1,000円	
中研修室使用料	1時間(準備~片付けまで)	500円	
体育館使用料	1時間(準備~片付けまで)	2,000円	
自炊場使用料	1人1回	200円	
クラフト材料費			
まが玉づくり◆	500円	若狭塗箸づくり◆	500円
焼き板セット	500円		

◆印のクラフトプログラムがおすすめです。

(補足)

- ① キャンプファイヤーは、下記の金額を目安にご計画ください。
- ・ 1 時間 → **太薪 8束(4,800 円)と細薪 1 束(300 円) 合計 5,100 円**
  - ・ 1 時間 30 分 → **太薪 12 束(7,200 円)と細薪 1 束(300 円) 合計 7,500 円**
- 但し、上記の薪数はあくまでも目安ですので、必ず予備費はご用意ください。
- ② 野外炊事 (カレーライス) の場合は、下記の金額を目安にご計画ください。
- ・ 2 班 (各 8 名前後) で**太薪 2 束(1,200 円)と細薪 1 束(300 円) 2 班合計 1,500 円**
- 但し、上記の薪数はあくまでも目安ですので、必ず予備費はご用意ください。
- ③ 弁当を注文される場合は、**1 学校 1 種類**でお願い致します。
- ④ 補食 (パン・ジュースなど) の申込みは、利用日程表に必要個数などを記入して提出ください。  
個数の変更は、**ご利用開始日前日の 16:30 まで**受付をいたします。青少年の家に電話にてご連絡をお願い致します。前日 16:30 以降の変更はできませんので、ご注意ください。  
また、パン・ジュースを各種申込の場合は、個数変更をされる種類も併せてお伝えください。
- ※児童・生徒の欠席時に種類の把握がしやすいよう、できるだけ少ない種類でのお申込みをお勧めします。**

## 利用の仕方・諸注意

---

びわ湖青少年の家は、宿泊定員が約 150 名（最大 171 名）の比較的小規模な宿泊施設です。

単独でご利用いただく場合は施設やプログラムの制約はありませんが、日程によっては他校と同時のご利用になりますので、限られた施設・設備を両校でどのように振り分けて利用していただくか、各校でそれぞれ具体的な計画に入る前に必ずご確認いただく必要があります。また、小学校と中学校あるいは市外校が同一日程になるケースもあります。施設側ではどちらか一方のご希望だけをもとに具体的な計画のご相談に応じることができませんので、まず同一日程に他校も利用するかどうかを、必ずお確かめください。

また「夏休み期間中」については、他の時期とは状況が異なり、一般団体と同一日程になる可能性も高まります。その場合は部屋割りやプログラムの割り振りなどについて、学校同士のケースとは違って、早い段階から確定することが困難になることもあります。

他の時期では学校団体に限っては「同一日程に 2 団体まで」という受け入れ制限を設けておりますが夏休み期間中は一般団体との公平性を保つために、定員いっぱいまで予約を受け付けることとなりますので、小規模校の場合は 3 団体以上が同一日程になるケースも発生することがあります。

施設側といたしましても、部屋割りやプログラムの割り振りについて、可能な限り各団体のご希望を考慮したうえで調整をさせていただきますが、すべてのご希望にお応えすることは非常に難しくなりますので、この点につきましては十分にご理解いただく必要があります。

### 【下見について】

- ・単独で利用される場合も下見は必要ですが、2 校重なった日程で利用される場合は、できるだけ両校で連絡をお取りいただき、合同で下見にお越しいただくことをお勧めいたします。  
(重なった日程で他校が入っているかどうかはお問い合わせください)
- ・プログラムや時間調整などの事について両校の先生方と職員が一同に打ち合わせをすることがもっとも合理的で確実です。どうしてもご都合が合わない場合は、下見に来られる前などに、両校で連絡をお取りいただき、他校のプログラム枠の希望をお聞き頂いてお越しください。  
(夏休み期間中に一般団体と同一日程でご利用の場合は、施設までご相談ください)
- ・下見の際は必ず、希望日時・先生方の人数を施設にご連絡ください。

### 【プログラム作成にあたって】

- ・湖上活動をはじめ様々な施設のプログラムを用意しております。
- ・学校団体で自主的なプログラムをご計画ください。
- ・雨天時のプログラムも必ず準備しておいてください。

### 【車での来所について】

- ・自家用車の台数は、原則 1 団体 3 台までです。台数が増える場合はご相談ください。  
お車は必ず駐車場（グラウンド）へ停めてください。正面玄関前には停められません。
- ・駐車場に大型バスの留め置きはできませんのでご注意ください。**やむを得ず留め置きが必要な場合は、萩の浜前の砂地に置くことができます。ただし、必ず事前に高島市財産管理課へ大型バス留め置きのご連絡をお願い致します。(財産管理課：0740-25-8112)**

## 【出発時および緊急時の確認事項】

- ・台風や異常気象の時は、必ず出発する前に青少年の家に連絡の上、万全を期してください。
- ・出発時に入所時刻の変更や人数に変更があった場合は、必ず青少年の家まで連絡してください。

## 【入所・退所について】

- ・施設内への入所・退所時間は特に指定はございません。ただし宿泊室への**入室は 15:00 以降、退室は最終日の 10:00 まで**となっています。
- ご利用初日 15:00 以前の施設利用・最終日 10:00 以降の施設利用に関しては、別途施設使用料が必要となります。(施設利用がなく荷物だけのお預かりは可能です)
- ・宿泊室への入室前・退室後の活動の際は、荷物を空きスペース(当施設より指示)へ置いていただきます。
- ・青年の家へ入所された後、引率責任者の先生及び会計担当の先生は事務所へお越しください。
  - ① **利用者名簿**の提出をお願いいたします。名簿はA4サイズ用紙であれば、団体独自の書式でも可能です。ただし、氏名・年齢・性別・生年月日は必須項目です。児童分だけでなく、引率の方やカメラマンの方もお忘れないようにお願いいたします。
  - ② 確定利用人数・食数・使用場所や部屋などのプログラムや、精算方法の確認をいたします。

## 【活動時間について】

- ・プログラムを実施される場合の可能時間は、**原則としてご利用初日の午後～最終日の午前まで**とさせていただきます。
- ・起床・就寝時間は設けていませんが、他団体や近隣住民のご迷惑になる行為はご遠慮ください。体育館やグラウンドでの大きな音を出す活動(吹奏楽・ダンス等)につきましては、朝は 9:00 以降、夜は 21:00 まででお願い致します。浜側であれば、時間指定はございません。
- ・共有部分での活動は 22:00 までです。それ以降共有部分は消灯、玄関は施錠いたします。
- ・21:00 以降は、他団体のご迷惑にならないよう静かにお過ごしください。

## 【入所式・退所式・朝夕のつどい・オリエンテーションについて】

- ・入退所式や朝夕のつどいは、青少年の家としては実施していません。
- ・入退所式・朝夕のつどいをされる場合は、学校側で実施してください。ただし、入所時(入所式など)に、施設職員による簡単な挨拶を兼ねたオリエンテーション(館内や寝具の使い方などの説明)を 10 分程度させていただきます。

## 【宿泊室について】

- ・入室後、非常口・避難経路の確認を必ずおこなってください。
- ・布団類は各自で敷いていただき、シーツを必ずご利用ください。詳しくは、P.16 の [シーツの使用について] をご確認ください。
- ・宿泊室内での飲食は可能ですが、汚れ防止のため、寝具(布団・ベッド)の上でのご飲食はご遠慮ください。
- ・窓の開閉はできますが、網戸は動かさないようお願いいたします。
- ・宿泊室のカギは事務所にて保管しております。必要な場合はお知らせください。
- ・エアコンのリモコンは事務所にて保管しております。必要な場合はお知らせください。ただし、

リモコンの使用や管理は、先生がおこなっていただきますようお願いいたします。

- ・宿泊室および館内は禁煙です。喫煙は所定の喫煙所をご利用ください。
- ・宿泊室にはゴミ箱はございません。燃えるゴミは事務所前と各階段上のゴミ箱をご利用ください。その他のゴミにつきましては、[ゴミの分別・清掃について] をご確認ください。

### [シーツの使用について]

- ・宿泊される方は全員シーツを使用させていただきます。
- ・ロビー横のリネン室前に学校ごとに用意しておりますので、各自でお持ちください。
- ・使用後は元の場所にたたんで返却してください。
- ・シーツの使い方とたたみ方は、P.16 をご確認ください。

### [部屋割りについて] <館内図を参照>

- ・利用部屋数内において自由に部屋割りをさせていただいて結構です。
- ・他校と同時利用の場合は、最終的には施設側で部屋割りを決定することになりますが、その根拠となるのは基本的にはそれぞれの学校の人数になります。

びわ湖青少年の家の宿泊棟は、大きく A棟〔定員95名〕 と B棟〔定員76名〕 に分かれていますので、それぞれの学校が A・B に分かれて収まる人数の場合は、通常は **人数の多い学校が A棟、少ない学校が B棟** に入っていただくこととなります。

A棟にも収まらない場合は、A棟全部とB棟の一部、あるいはB棟全部とA棟の一部を併せて利用していただくこととなります。この場合は人数の少ない学校のご希望も考慮して調整する必要がありますので、計画に入られる際に施設へご相談ください。

### [入浴について]

- ・入浴時間は、16:00~22:00 までです。
- ・単独での利用が決定している場合は、ご希望の時間で設定をさせていただいて結構です。
- ・基本的には、A棟が女子・B棟が男子ですが、ご利用の宿泊室により、男女を変更できます。
- ・各浴室にはシャンプー・ボディソープ、各脱衣所にはドライヤー1台が備えてあります。ただし脱衣所で2台以上のドライヤーを使用するとブレーカーが落ちることがあります。複数台のドライヤーを使用される場合は、宿泊室またはロビー等でご使用ください。
- ・浴槽は追い炊き機能はありませので、温度調整は蛇口でおこなってください。熱湯が出ますので火傷にはお気を付けください。
- ・使用後は、イスや桶の整理整頓・忘れ物のチェックをお願いいたします。また、浴槽の栓は抜かないようにしてください。
- ・最後に浴室をご利用の方は、電気を消灯してください。換気扇は回したままでお願いいたします。
- ・以下の指導をお願いいたします。
  - \* 浴室では走ったり暴れたりしない。(怪我をさせていただきます)
  - \* お湯につかる前に、身体をよく洗う。(お湯が汚れてしまいます)
  - \* 浴室から出る時は、よく身体をふく。(脱衣所が水浸しになります)
- ・介助が必要な方用として、浴室用スポンジマット・浴室用椅子を貸し出すことができます。必要な場合は、事前にご連絡ください。

## 【ゴミの分別について】

- ・ゴミは、『燃えるゴミ（生ゴミ含む）』・『カン（アルミ・スチール）』・『ペットボトル』の3種類に分け、ゴミステーションまでお持ちください。カン・ペットボトルは中身を捨て、軽く洗ってください。ペットボトルは、必ずフタとラベルをとってください。
- ・生ゴミを処分される場合は、水分を十分に切って指定のゴミ袋へ入れてください。
- ・ダンボールは、ゴミステーション左隣のダンボール置き場へお願いします。
- ・ビンは回収できませんので、お持ち帰りをお願いしております。
- ・燃えるゴミは指定のゴミ袋に入れていただきます。必要な場合は事務所までお声かけください。

## 【清掃について】

- ・退所までに、使用された場所の清掃をお願いいたします。
  - \* 宿泊室は、10:00の退室時間までをお願いいたします。ゴミをあつめてゴミ箱へ、寝具等はキレイにたたみ元通りにしてください。
  - \* 廊下・トイレは、各場所用のホウキでゴミを掃除してください。
  - \* 体育館・研修室等は、ご利用時間内に片付け・清掃をおこなってください。
- ・清掃のチェックは、ご利用者様でおこなっていただきます。お忘れ物等ございませんよう、ご確認をお願いいたします。

## 【体育館・研修室のご利用について】

- ・ご利用時間は、準備から片付け（清掃）までの時間です。
- ・研修室のイスと机は、ご利用内容に応じて動かしたり、室外へ移動していただいて結構です。ご利用後は、必ず元通りにお戻しくください。
- ・各施設ご利用後は、清掃のご協力をお願いしています。体育館はモップがけ、研修室は机の上や床をキレイに清掃していただきますよう、お願いいたします。

## 【キャンプファイヤー場について】

- ・単独での利用が決定している場合は、浜側かグラウンド側のどちらを使用していただいても結構です。
- ・他校と同日程の場合は、**人数の多い学校がグラウンド側、少ない学校が浜側**になります。

## 【自炊場について】

- ・単独での利用が決定している場合は、自由に自炊場を使用していただいて結構です。
- ・他校と同日程の場合は、自炊場を合同で使用していただくこととなりますが、自炊場が広くありませんので、安全面も考え、違う日程や時間帯をお勧めいたします。
- ・自炊場には食器具類のほか、洗剤やスポンジ、手洗い石鹸等もそろっております。ただし、**焚き付け用の新聞紙やマッチ・ライター類はお持ちいただきます**ようお願いいたします。

## 【プログラム活動について】

- ・日中のプログラム可能枠は、1泊2日の日程では「1日目の午後1コマ」「2日目の午前の1コマ」の計2コマになります。2泊3日の日程では「1日目の午後1コマ」「2日目の午前1コマ」「2日目の午後1コマ」「3日目の午前1コマ」の計4コマになります。

- ・学校団体向けの湖上活動は、カッターが基本となります。(但し5年生以上)
- ・カッター以外にカヌーやいかだ作りを実施することは可能ですが、カッターを含む湖上活動は、2つ以上を同時に実施することはできません。
- ・各湖上プログラムには、それぞれ艇数に制限があります。人数が多い場合はプログラム枠内で交代しながらおこなったり、プログラム枠をわけてご利用ください。

## 【安全と健康について】

- ・貴重品の管理は、各自でお願いします。なお、学校としての貴重品のみに、事務所で預かりすることができます。
- ・**救急用品等は、原則として学校でご準備ください。**プログラム時の救急用品等は当施設にございますが、内服薬の提供はできません。
- ・プログラム前後や食事の前には、必ず手洗い・うがいをしましょう。
- ・けが人や病人が発生した場合は、直ちに事務所まで連絡してください。病院を紹介します。搬送はタクシー等、学校でお願いいたします。

**※AED（自動体外式除細動器）は事務所に設置しています。**

## ＜最寄りの救急指定病院＞

※保険の取り扱いは**保険証のコピー**でも可能ですが、事前に病院へご確認ください。

病院名	連絡先	診療時間	備考
<b>高島市民病院</b>	高島市勝野 1667 番地 TEL 0740-36-0220 FAX 0740-36-1341	8時30分～11時30分 土、日、祝日休み (上記以外は、時間外診療になります)	当施設より 車で約5分 (JR 近江高島駅前)

## 【施設の利用について】

- ・タオルや歯ブラシ・寝間着などはありませんので、必ずご持参ください。
- ・館内のロビーや廊下は、安全衛生上、必ずスリッパか上靴を履いてください。  
館内にスリッパは用意していますが、上靴（体育館シューズ等）があると便利です。  
また子ども用のスリッパは数量があまりありませんので、**スリッパか上靴（体育館シューズ等）を必ずご持参**ください。
- ・施設内の備品を破損させたり汚した場合は、すぐに事務所までお申し出ください。破損・汚れの度合いにより、修理費をいただく場合がございます。
- ・事務所は22:00で終了します。22:00以降の緊急時は、宿直室に連絡してください。施設スタッフが対応いたします。
- ・施設内および施設周辺（萩の浜など）での**打ち上げ花火や音の大きい花火は禁止**です。
- ・**夏季期間、濡れたままの格好で入館はできません。**必ず外更衣室で更衣の上、入館してください。
- ・夏季期間は、虫よけスプレーや蚊取り器具などの虫よけ対策をしておいてください。  
(館内で蚊取線香の使用はできません)
- ・ペット（介助犬を除く）の同伴はお断りしております。
- ・節電のため、日中は廊下など共用部分の照明を消灯しています。節水、節電にご協力ください。
- ・館内美化にご協力いただきますようお願いいたします。

## [キャンセル料について]

- ・宿泊費のキャンセル料は発生いたしません。食費のキャンセル料につきましては、p.13 をご確認ください。
- ・予約されていた湖上プログラム自体を団体様都合で当日キャンセルされる場合は、**予約されていた人数分でプログラム費を全額いただきます。**（天候等によるプログラム実施不可能の場合は除く）

## [おもな設備]

活動場所	定員	備 考
体 育 館	—	講堂としては定員 150 名 バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ ドッジボール等ができます
大研修室	81 名	暗幕・スクリーン
中研修室	36 名	暗幕・小スクリーン
ファイヤー場	—	2 カ所（浜側・グラウンド側）
浴 室	約 20 名	2 カ所
食 堂	150 名	食事以外には使用できません
野外炊事場	150 名	かまど 20 カ所
グラウンド	—	軽スポーツができます 駐車場を兼ねていますので、お車には十分ご注意ください
ランドリー	—	洗濯機 2 台・乾燥機 2 台 洗剤はご持参ください

## [貸出し物品について]

- ・貸し出し数には限りがあります。

CD ラジカセ	DVD デッキ	プロジェクター
アンプ（マイク付）	星座盤	野外炊事用品
各種ボール	バドミントン（体育館用）	卓球セット（体育館用）
大縄とび（体育館用）10m×3本	綱引きロープ（体育館用）	

## 食事・弁当・野外炊事について

- ・食事の提供内容は、食事、自炊材料、弁当（昼食のみ）の3種類です。
- ・お申し込みされる際は「食事申込書」を必ずご提出ください。
- ・食材提供の野外炊事をされる場合は、班ごとに食材を準備しますので、必ず班ごとの食事数をご記入ください。その際、児童・生徒分だけでなくご利用全員分になるようご記入ください。
- ・メニュー内容につきましてはお問い合わせください。
- ・アレルギー食やきざみ食など、調理師と相談の上、可能な限り対応いたします。

「アレルギー対応シート」に記入の上、2週間前までに必ず FAX などで提出してください。

急な対応はできませんのでご了承ください。

なお、対応できない場合は食品をお持ちください。お持ちいただいた食品を暖める場合、電子レンジの使用は可能ですのでご相談ください。

### [食堂の営業時間及び食材・弁当提供時間]

	朝 食	昼 食	夕 食
食 事	7:30 ~ 9:00	11:00 ~ 13:00	17:15 ~ 19:00
自炊材料	-	9:30 ~	15:30 ~
弁 当	-	10:30 ~	-

### [食堂の利用について]

- ・食堂の定員は 150 名です。(別紙食堂配置図参照)
- ・単独での利用が決定している場合は、自由にテーブルを利用していただいて結構です。  
ただし、食堂の入口に近いテーブル列は、ごはん・お茶などの配膳用に使用することがあります。  
複数団体の時間が重なった場合、食堂の配置割りはスタッフが調整いたします。
- ・食堂は、当施設での食事の提供時のみご利用いただけます。**持込でのお食事や、提供食事以外の時間はご利用いただけません。**

### [食事について]

- ・「食事申込書」に、ご希望の時間と食数をご記入ください。**食堂での食事提供の場合、食器の返却・後片付けまでを食堂の営業時間内に終了できるように、食事開始時間をお決めください。**
- ・配膳や片付けはセルフサービスになりますのでご協力をお願いします。  
食事係（グループで2名程度）を決めていただき、食事開始時間の10分～15分前に食堂に集合して全員分の配膳をおこなってください。**後片付けは1人ひとりがおこなうと返却場所が混雑しますので、グループの食事係が食器類や残飯をまとめて返却してください。**
- ・食堂でのお食事や自炊材料提供の際は、水筒にお茶の補給ができますが、お茶の量に限りがございますので、水筒に入れる量を考えて補給してください。お茶の補充は、できるだけ先生がおこなっていただきますようお願いいたします。  
材料持込の自炊やお弁当の際は、お茶の提供はございません。

## [弁当について]

- ・昼食のみの提供になります。食堂では召し上がれません。
- ・申し込みは、「食事申込書」の食事数・弁当メニュー欄に記入してください。(1 団体 1 種類)

## [野外炊事について]

- ・スタッフがオリエンテーションをおこないます。(不要の場合はお知らせください)
- ・カレーライスを作る場合、最初(自炊オリエンテーション)から終了(後片付け)まで、約 3 時間かかるとお考えいただいて計画してください。(焼きそばの場合は約 2~2.5 時間)
- ・自炊材料は、班ごとに分けて提供いたします。(※薪などの燃料は含まれていません)
- ・申し込みは、「食事申込書」の食事数、自炊メニュー・班分け欄にご記入ください。先生やその他カメラマン等も含めて班の人数をご記入いただきますようお願いいたします。

### 野外炊事の際にご利用いただける用具

カレー皿	小皿	汁わん	どんぶり
湯呑み	スプーン	まな板	水切りざる
やかん (3 ㍓)	しゃもじ	お玉	鉄板用コテ
段付鍋 (6 ㍓)	寸胴鍋 (米炊鍋)	トング(肉バサミ)	鉄板
火ばさみ	★包丁	★皮むき器	

(補足)

- ・炊事場のカマドは、20 基あります。用具のほとんどは、炊事場横の用具庫にあります。
- ・お米は寸胴鍋 (約 10 合) で炊きます。飯ごうはありません。
- ・★包丁や★皮むき器の刃物類は、事務所に貸出いたします。使用後は事務所まで返却ください。
- ・野外炊事の班編制は、1 班 8 名前後が目安です。
- ・軍手は各自ご持参ください。軍手は、**必ず綿 100%**をご使用ください。綿とポリエステルなど混合のものは、軍手が溶けてしまい、大ヤケドの原因になりますのでご注意ください。ヤケドを防ぐためにも、鍋つかみを持参していただくと便利です。
- ・使用後は、使用された物品の洗浄や片付け、場所の清掃をお願いいたします。

## [食数変更について] 行事实施の場合

- ・申し込み後に食数の変更があった場合は電話にてご連絡ください。

**6 食以上の食数変更については → ◎利用日の 1 週間前の 16:30 まで。**

**5 食以内の食数変更については → ◎初日の夕食は、利用日初日の 11:00 まで。**

◎朝食・昼食は、利用日前日の 16:30 まで。

※ 1 週間をきって利用当日までの食数変更は、1 週間前の食数から最大 5 食までです。

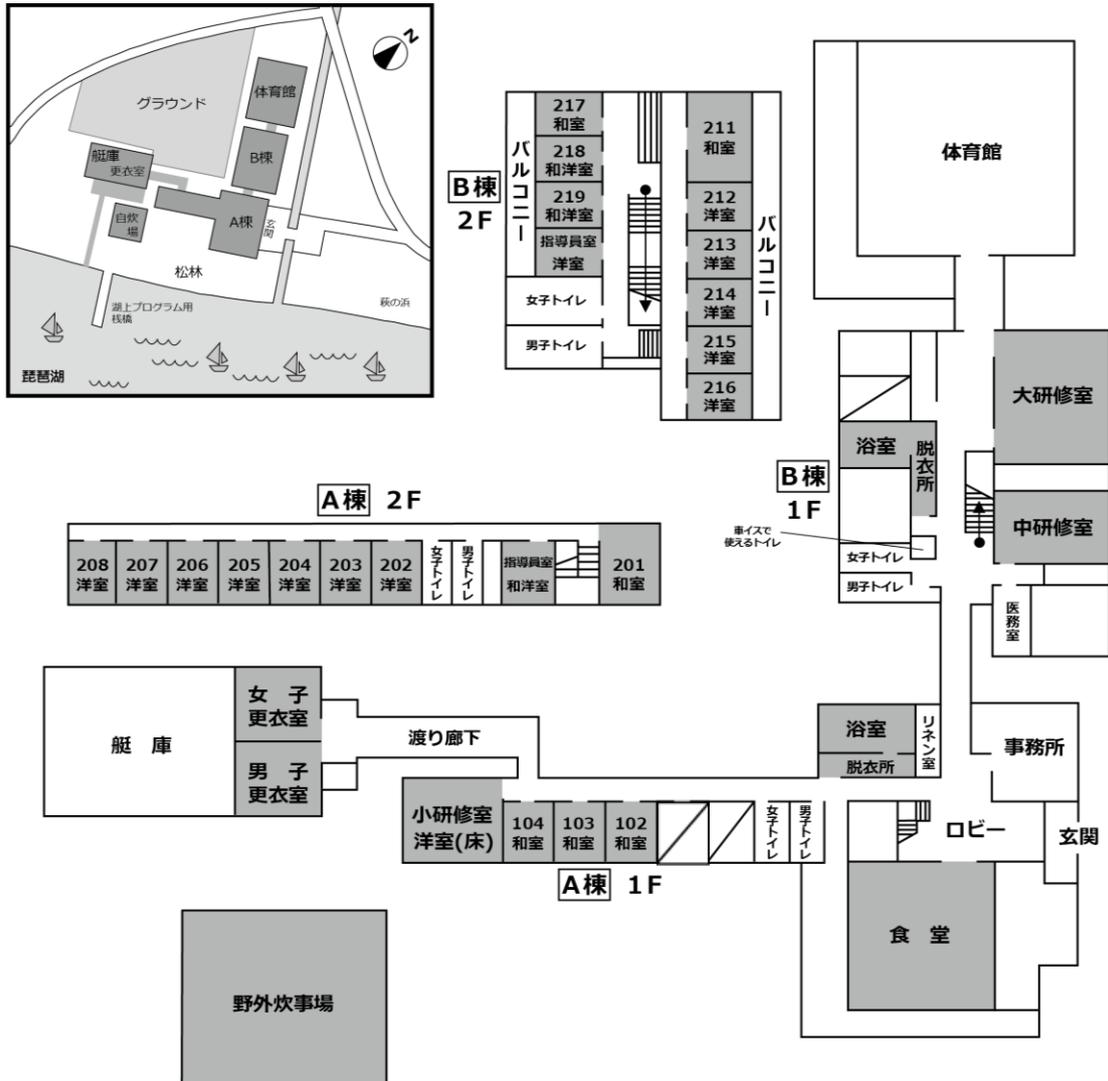
ご注意ください。☆野外炊事の食数変更をする場合は、班編成の食数変更もお知らせください。

※補食の数量変更は、ご利用開始日前日の 16:30 までとなりますので、お間違えないようお願いいたします。

## [食事のキャンセルについて] 行事中止の場合

- ・当日キャンセルは全額キャンセル料が発生しますのでご注意ください。(台風や災害発生時は除きます)

# 館内図



## 【A棟】

	102	103	104	201	指導員室	202	203	204	205	206	207	208
種別	和室	和室	和室	和室	和洋室	洋室						
畳数	8	8	8	12	6	—	—	—	—	—	—	—
ベッド数	—	—	—	—	4	8	8	8	8	8	8	8
定員	5人	5人	5人	7人	7人	8人						

定員：85人

## 【B棟】

	211	212	213	214	215	216	217	218	219	指導員室
種別	和室	洋室	洋室	洋室	洋室	洋室	和室	和洋室	和洋室	洋室
畳数	20	—	—	—	—	—	10	6	6	—
ベッド数	—	8	8	8	8	8	—	4	4	6
定員	11人	8人	8人	8人	8人	8人	5人	7人	7人	6人

定員：76人

## 【研修室】

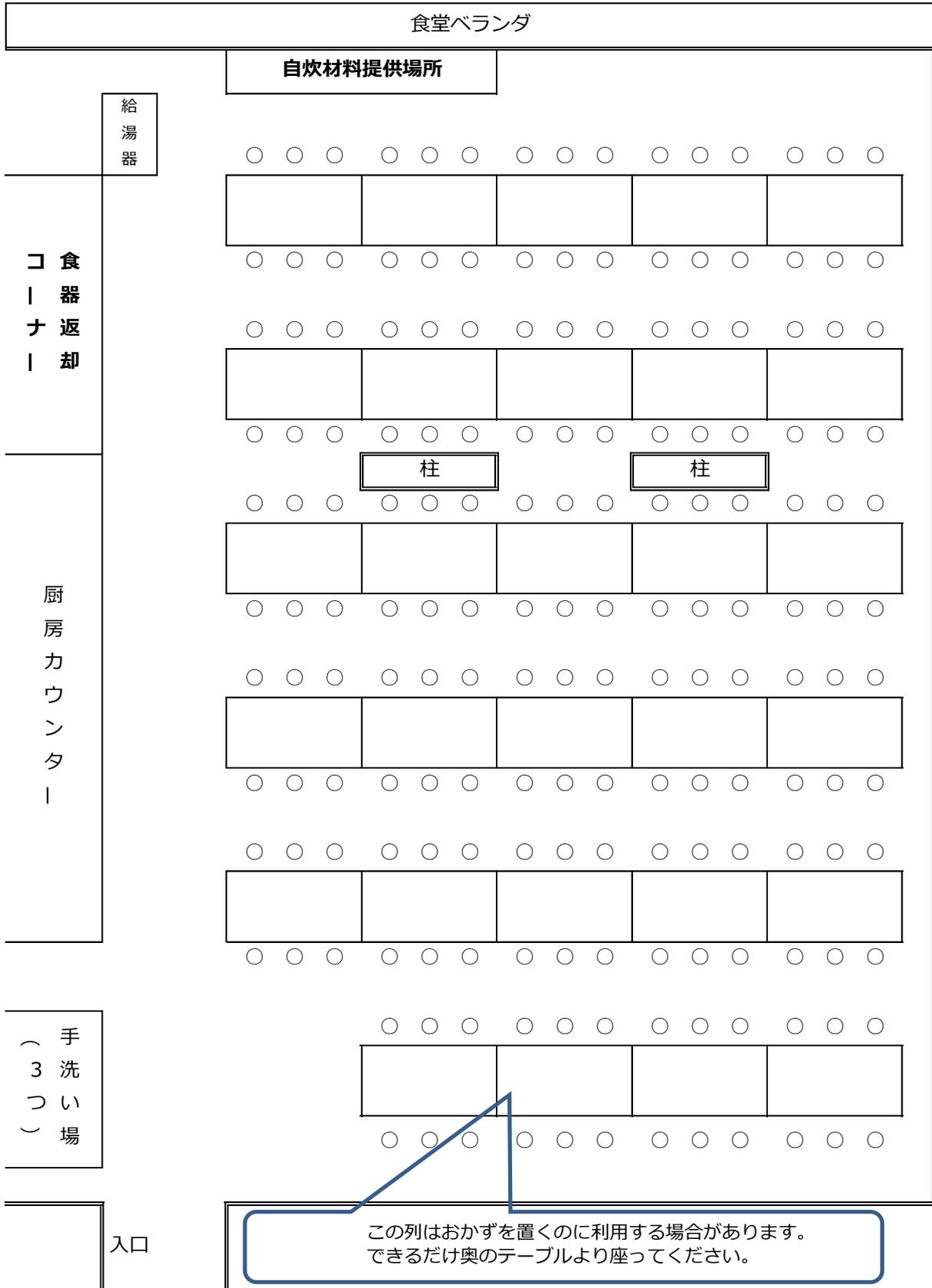
	大研修室	中研修室	小研修室
面積	99㎡	51㎡	48㎡
定員	~80人	~40人	~20人

- ※ 宿泊室 : 定員 161人
- ※ 食堂 : 定員 150人
- ※ 浴室 : 定員 20人×2

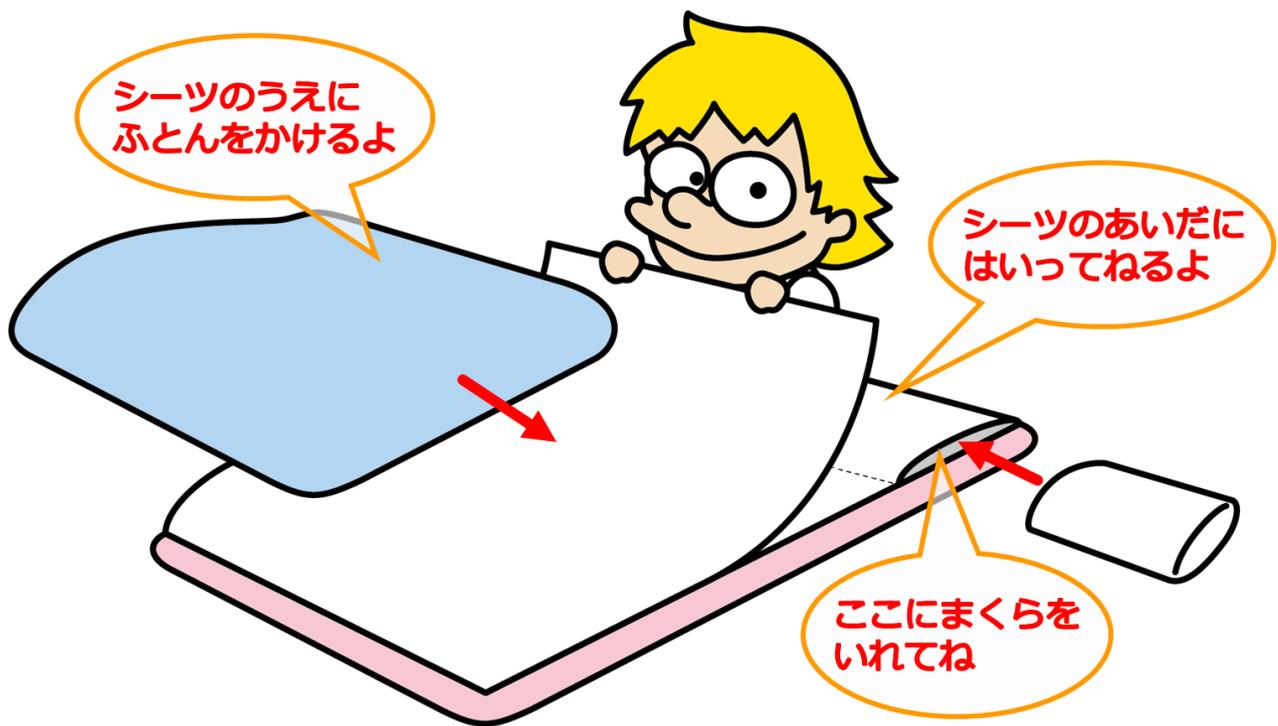
※小研修室は宿泊室としても利用できます。(宿泊定員10人)

# 食堂見取り図

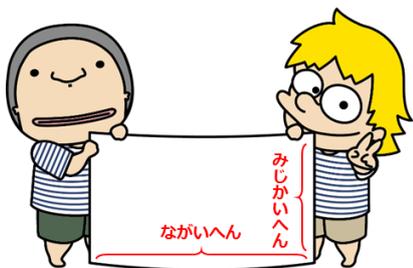
浜（東）



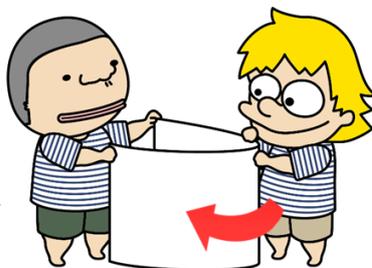
## シーツの使い方



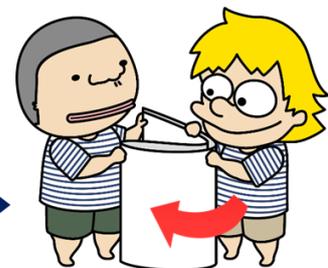
## シーツのたたみ方



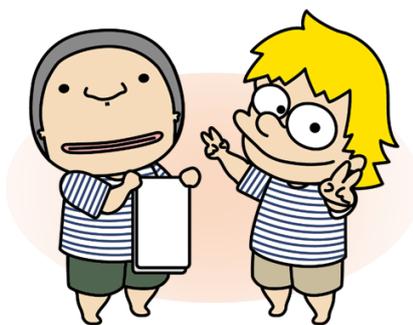
①シーツをひろげます  
ふたりでするとカンタンです



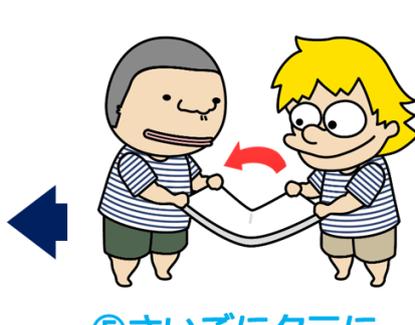
②ながいへんを  
はんぶんにおります



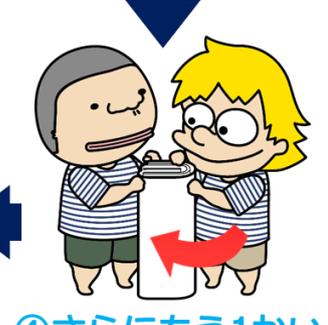
③そのままもう1かい  
はんぶんにおります



できあがり♪



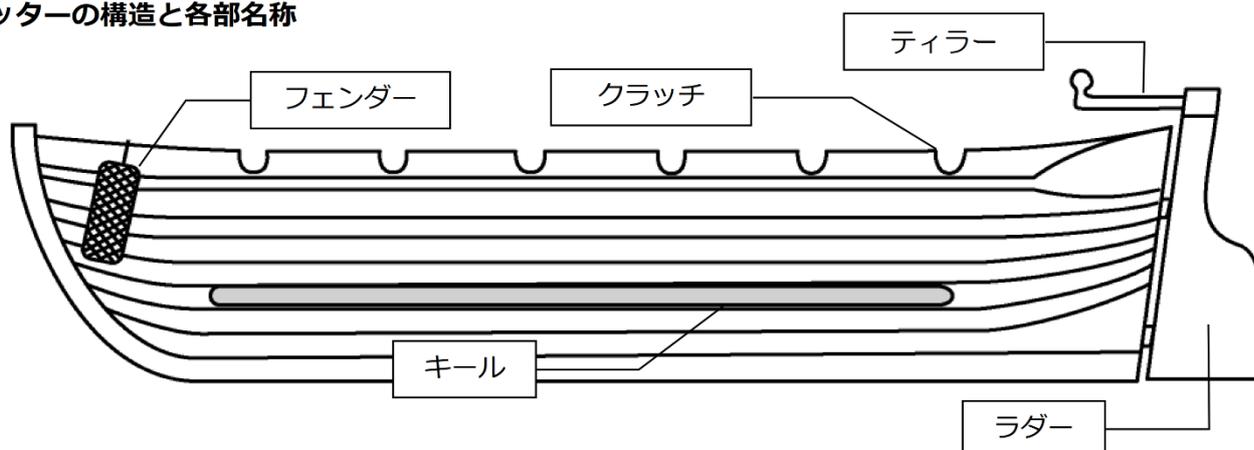
④さいごにタテに  
1かいおります



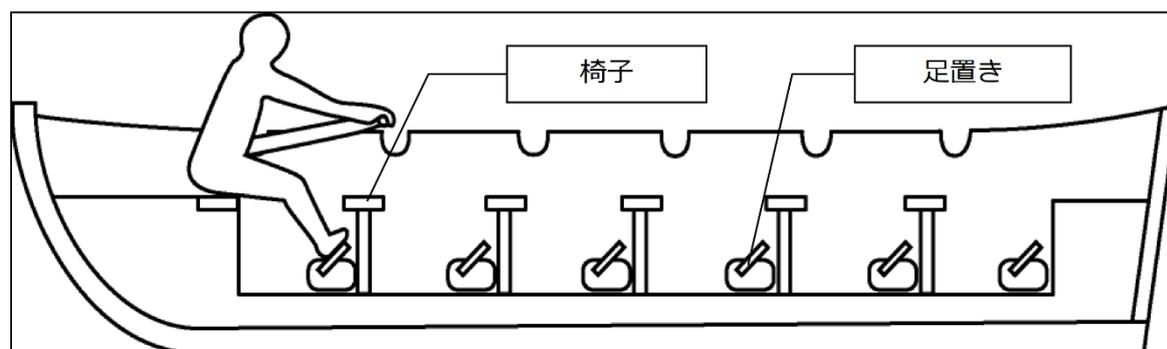
⑤さらにもう1かい  
はんぶんにおります

# カッタープログラム

## ●カッターの構造と各部名称



## ●カッターの断面図



## ●カッターについて

カッターという名称の船は、一般的にはなじみの薄いものといえます。もともとは大型船舶に上陸用や人命救助用として積んであったものの一種で、よく似たものは映画の中などで見ることができます。カッタープログラムは、みんなで力を合わせて漕ぐことから、団結力や協調性を養うことを目的としたプログラムです。**遠方（特に鳥居方面）に行くことが目的ではありません。** 鳥居方面へ行く場合は、**約3時間**はかかるとお考えください。

びわ湖青少年の家には、全長9メートルのものが2艇あります。櫂（かい）は通常12本を使い、高校生以上は1人で1本の櫂を、小中学生は2人で1本の櫂を漕ぎます。したがって中学生までは「24人漕ぎ」が基本の構成になりますが、ある程度の調整は可能です。

プログラムの指導はすべて施設のスタッフがおこない、カッターにも艇長（スキッパー）が乗船します。学校での技術的な事前指導は必要ありません。ただし、安全かつ充実した活動をしていただくために、団体行動が素早くできるよう、参加の心構えについての事前指導は徹底しておいてください。

## ●プログラムの組み方

プログラムの時間枠は、おおむね**午前は9:00～12:00、午後は13:00～16:00**です。

はじめに、どの時間枠をカッタープログラムに使うかを決め、つぎに児童・生徒数に合わせてグループ分けをします。グループが3つ以上になる場合は交替が必要となりますので、各グループの乗船時間は短くなります。

同じ時間枠で交替がある場合は、前半のグループが帰ってくる様子を見ながら、すぐ準備ができるように、後半のグループは浜辺での散策や水遊び、もしくは自炊場でのクラフト等の活動にされると良いでしょう。また、夏休み期間中にご利用の場合は炎天下での活動になり、他の時期にくらべて体力の消耗が激しく熱中症などの危険もありますので、予定より早めに終了することがあります。

## ●グループ分けの目安

前述しましたように、小中学生は「24人漕ぎ」が基本となります。漕ぎ手が座る場所以外にもスペースがありますので、中学1年生までは最大33人まで乗り込むことができます。（中学2年生・3年生は30人まで、高校生以上は18人まで）

1グループが24人未満の場合は、先生方に入っていただくことになります。詳しくは、下見の際などにご相談ください。

## ●服装・持ち物について

服装はふつうの服（体操服等の動きやすい服装）で結構です。水着を中に着る必要はありませんが、濡れた場合のために、着替え用の下着は余分に持たせたほうがよいでしょう。

6月～9月は半そででかまいませんが、5月・10月・11月は気温の低い日もありますので、軽めの上着・長ズボンも必ず用意しておいてください。さらにレインコートを用意しておけば、少々の雨でも実施することができます。

靴についても通常は濡れることはありませんが、雨の中で実施する場合がありますので、カッター用として別に用意されたほうがよいでしょう。（ウォーターシューズ等）

参加時の持ち物は、タオル・水筒・帽子です。**カバンやナップサック等は不要です。**

## ●お願いとお断り

カメラマンが同行し、浜などで集合写真を撮影される場合、撮影するタイミングや時間を調整させていただく場合があります。スムーズなカッタープログラムの運営にご協力ください。

また、ケガや障がい等がある方について、「水に落ちた場合に、ライフジャケットを着た状態で、自分ひとりで姿勢の維持・呼吸の確保ができない方」もしくは「スキッパーの指示が理解できない方」は、安全確保のため、カッターや救助艇への乗船ができません。あらかじめご了承ください。

なお、上記理由によりカッタープログラムができない場合は、クラフト等をおこなっていただくことができます。下見の際等にご相談ください。



## ●カッタープログラムの原則

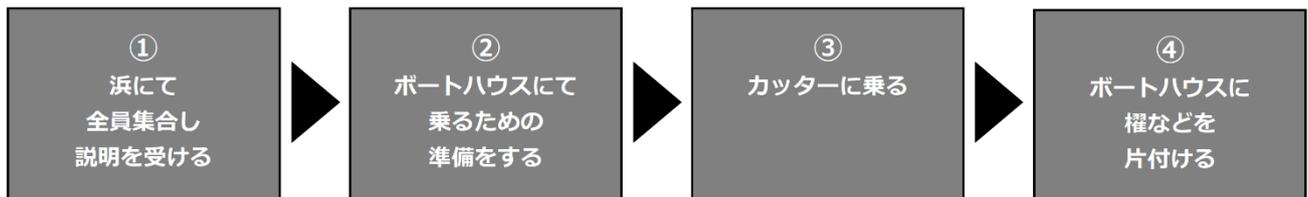
※艇長（スキッパー）の指示に従って行動してください。

※勝手な行動や発言は進行の妨げになり、場合によっては大事故につながる恐れがあるので慎んでください。

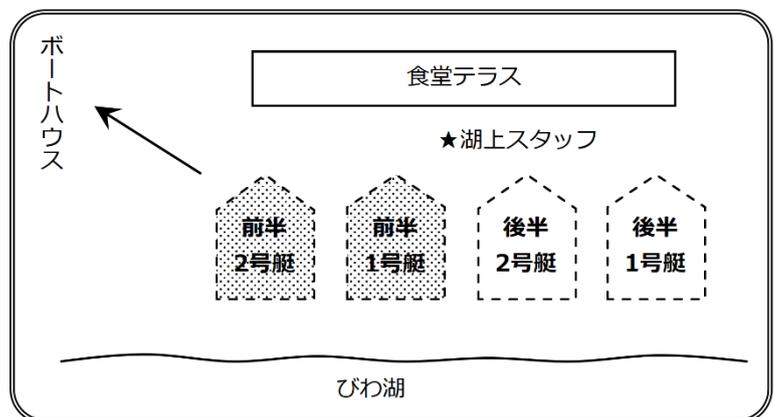
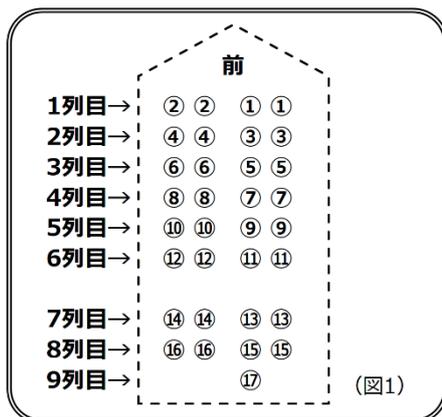
学年構成やプログラム時間、艇の交代時間およびその時の気象状況により、スタッフがエリアや航路を決めさせていただきます。また、気象状況により実施できない場合もあります。

「安全が全てに優先する」ことを1番に考え、プログラム運営をしていきます。

## ●カッタープログラムの流れ



- ① ・カッタープログラム用の服装に着替え、持ち物を確認し、指定された浜辺に集合する。  
 ※服装：運動できる服装（水着でなくても良い）・靴（ビーチサンダル不可）・帽子  
 ※持ち物：水筒・タオル（ナップサック・カバン等は持ち込まないように）・雨具（雨天のみ）  
 ・艇ごとに下記の図1のように横4列で整列し、湖上スタッフより説明を受け、乗船番号を確認する。



- \* 1列目から6列目までの24名（①～⑱）が、はじめの漕ぎ手になります。残りは⑳以降の位置に並びます。  
 ⑳以降の人は、湖上で随時交代して漕ぎます。  
 \* 同じ番号のペアが、それぞれ1本の櫂を漕ぎます。  
 1つの番号で内側・外側がありますので、間違えないように並んでください。  
 \* 大人の方（先生や指導員）が乗られる場合は、  
**大人1名は子ども2名分としてお考えください。**

- \* 浜に整列する際は、食堂テラスの方を向いて（びわ湖を背にして）整列してください。  
 \* 3艇以上必要な場合は、上記のように並びます。  
 2艇以下の場合も、2号艇がボートハウス側に並ぶようにしてください。

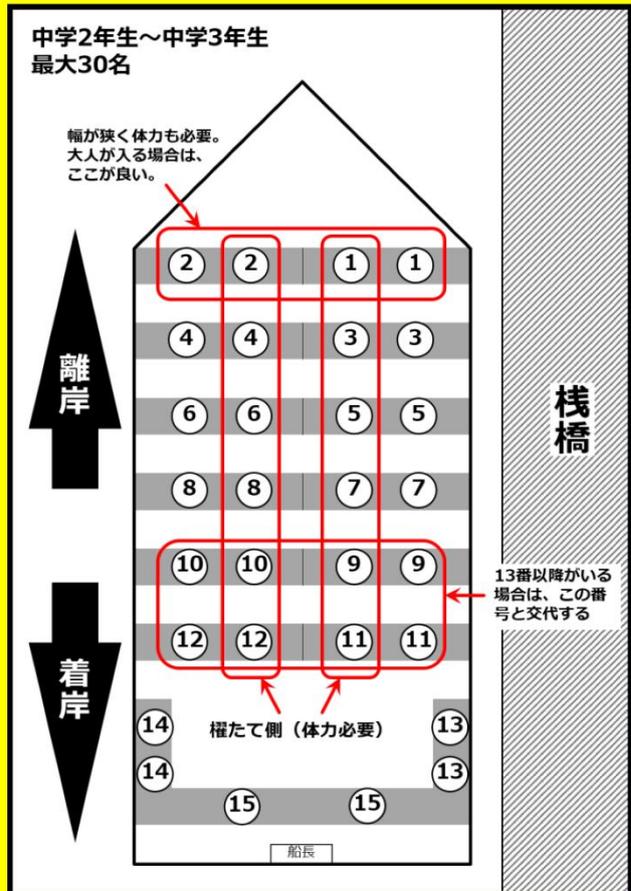
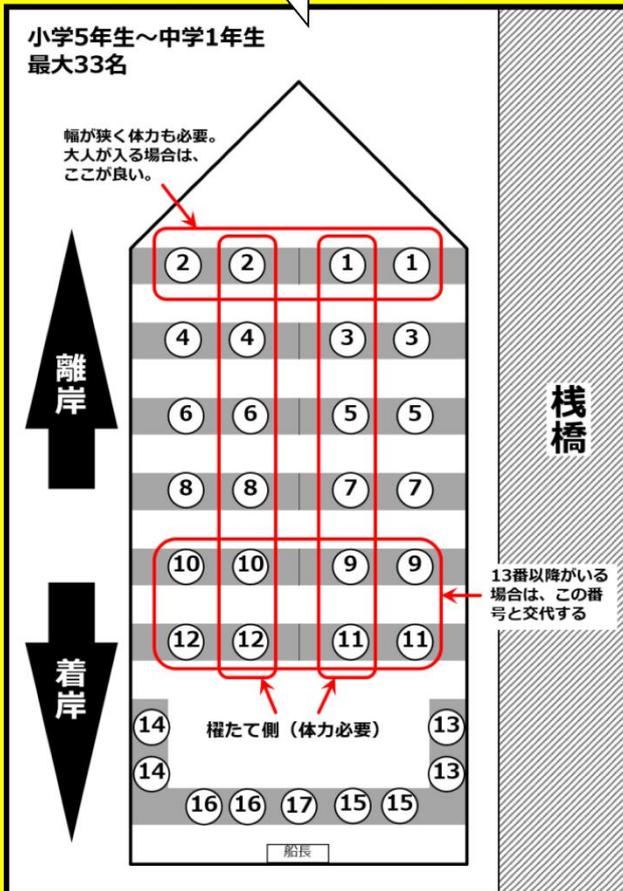
- ② ・艇ごとにボートハウスに行き、ライフジャケットを装着し、2名で1本の櫂を持ち栈橋まで移動する。  
 ※櫂を運ぶ時は周囲をよく確認し、2名それぞれが櫂の端を持ち、バランスよく運んでください。  
 ・栈橋のカッターの前で櫂を湖上スタッフに渡し、再度列ごとに整列し、操作方法の説明を受ける。
- ③ ・各艇、乗船番号ごとにカッターに乗り、出発する。  
 ※しっかりと艇長（スキッパー）の指示を聞きましょう。
- ④ ・栈橋帰着後、櫂をボートハウスまで運び（交代の場合は不要）、ライフジャケットを元に戻す。  
 ・再度整列し、湖上スタッフからの講評後、解散。

●活動のポイント（より上手に操作するために）

- \* 乗船番号「①」「②」の人や、船の内側に座る人は、体力のある方が良いでしょう。
- \* ⑬以降がいる場合は、原則として乗船番号「⑨」～「⑫」と交代します。（ただし体調や操船状況によっては他の番号でも臨機応変に交代します）  
交代する人がすでに決まっている場合は、「⑨」～「⑫」に配置してください。



席順のヒント

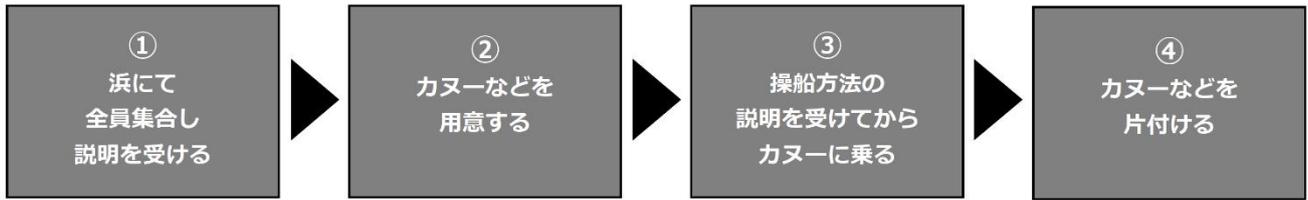


●引率者が指導する際、配慮していただきたい点

- \* 服装確認とトイレ確認を済ませ、カッターの艇ごとに整列し、そろったらお声かけください。
- \* タオル・水筒・雨具などの持ち物は、カバン等に入れないように、そのまま持ってきてください。
- \* **整列のヒントを参考に、学校・団体で誰がどのカッターのどの番号にすわるかを決め、実施前日までにカッター座席表をご提出ください。プログラム開始までには、必ず自分の席番号を覚えておいてください。**
- \* 3艇以上の場合、前半から後半がスムーズに交代できるよう、時間配分や交代メンバーの待機のさせ方などの工夫をお願いいたします。
- \* カッター乗船中の漕ぎ手の交代は、艇長（スキッパー）がおこないます。怪我等で交代できない方がいる場合は、事前にお知らせください。
- \* 水に落ちた場合に、ライフジャケットを着た状態で、自分ひとりで姿勢の維持・呼吸の確保ができない方は、安全確保のためカッター・救助艇には乗船することができません。あらかじめご了承ください。

# カヌープログラム

## ●カヌープログラムの流れ



- ① ・湖上プログラム用の服装に着替え、持ち物を確認し、指定された浜辺に集合する。  
※服装：濡れても良い服・ウォーターシューズ（かかとが固定されているもの・クロックスやビーチサンダルは不可）・帽子  
※持ち物：水筒・タオル
- ② ・カヌー、パドルを自分たちで準備する。  
※カヌーを運ぶ時は、1艇につき必ず4人以上で運んでください。  
※カヌーには前後がありますので、浜に置く際は前が湖側になるように置きましょう。  
・ボートハウスにて、自分の身体の大きさに合うライフジャケットを装着する。
- ③ ・パドルの持ち方、操船方法の説明を受ける。  
・湖上スタッフの指示の元、**必ずひとりずつ順番に**カヌーに乗る。  
※どのカヌーに誰が乗るか、交代はいつするか等、あらかじめ決めておきましょう。  
※交代するときは、浜までカヌーを寄せ、1人ずつ乗り降りしてください。  
※他のカヌーとぶつからないように、操作してください。  
※絶対にカヌーの上に立たないでください。席の交代は浜に戻ってからにしてください。  
※決められたエリアの中で活動をお願いします。



- ④ ・合図があったら、浜にカヌーを上げ、ひとりずつ降りる。  
※一斉に立ち上がると転覆することがあります。**必ずひとりずつ順番に**降りてください。  
・カヌー、パドルともに元通りに片付ける。

### ●引率者が指導する際、配慮していただきたい点

- \* 服装確認とトイレ確認を済ませ、カヌーのグループごとに整列し、そろったらお声かけください。
- \* 集合の際、タオル・水筒などの持ち物は、グループごとにまとめて集合場所以外のところに置いておきましょう。
- \* 交代がある場合、「どのカヌーに」「いつ」「誰が乗るか」をあらかじめ決めておき、子どもたちに覚えておくようにさせてください。
  - ◎3人乗りカヌーが5艇、4人乗りカヌーが8艇あります。1度に湖上に出艇できる数は10艇までです。最大38名が1度に活動できます。
- \* スムーズに交代できるよう、時間配分や交代メンバーの待機のさせ方などの工夫をお願いいたします。

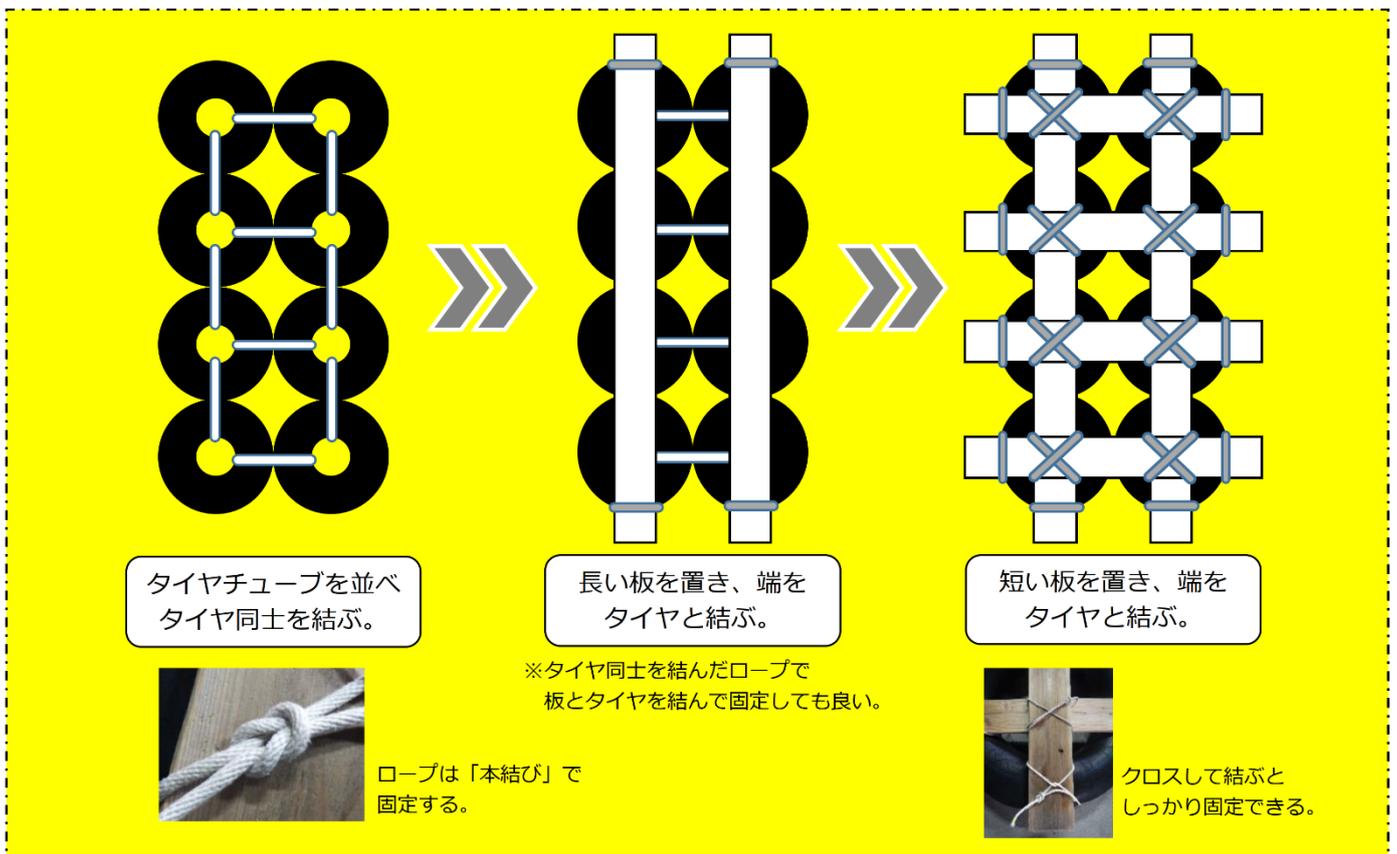


# いかだ作り

## ●いかだ作りの流れ



- ① ・湖上プログラム用の服装に着替え、持ち物を確認し、指定された浜辺に集合する。  
※服装：濡れても良い服・ウォーターシューズ（かかとが固定されているもの・クロックスやビーチサンダルは不可）・帽子  
※持ち物：水筒・タオル
- ② ・いかだの材料（タイヤチューブ・板・ロープ・パドル）を、自分たちで準備する。  
※板は長いので、運ぶ際は前後に注意してください。2名で運ぶと良いでしょう。
- ③ ・タイヤチューブを並べ、その上に板を格子状に置き、ロープで固定し縛る。  
※ロープで縛る際、板のささくれがないか注意してください。  
※縛り方がゆるいと、乗っている間にいかだが崩れる場合があります。
- ④ ・ボートハウスにて、自分の身体の大きさに合うライフジャケットを装着する。  
・完成したいかだを湖に浮かべ、パドルを持っていかだに乗る。  
※完成したいかだは重いので、グループで協力して運んでください。  
※パドルを漕ぐ時は、周囲の人に当たらないよう注意してください。  
・時間やコースを決めて、必要であれば交代しながら遊ぶ。
- ⑤ ・時間がきたらいかだを浜にあげ、ロープをほどく。  
・いかだの材料やパドルについた砂を軽くおとし、それぞれもとあった場所に片付ける。



## ●作り方・活動のポイント（よりスムーズに進めるために）

- \* 8本のタイヤで、8名～10名が乗ることができます。8本タイヤのいかだは1度に4艇まで作れます。
- \* 説明からいかだを作り終えるまで、約1時間 かかります。  
人数が多く交代が必要な場合は、「2～3グループで1つのいかだを作り、遊ぶ時に交代して乗る」など、できるだけ「いかだを作る作業」が少なくすむよう、学校・団体に調整してください。
- \* 作る作業に入る前に、まず「タイヤの並べ方」、次に「板の置き方」、次に「ロープを縛るところ」をグループで決めさせ、作業を進めてください。
- \* 完成したら、その場で軽いかだを持ち上げ、頑丈さを確認しましょう。ゆるい箇所があれば、ロープを縛り直してください。
- \* パドルを漕ぐ順番や、行き方、交代のタイミングなど、いくつかの決まり事をあらかじめ確認してから遊び始めると、スムーズにプログラムを進めることができます。

## ●引率者が指導する際、配慮していただきたい点

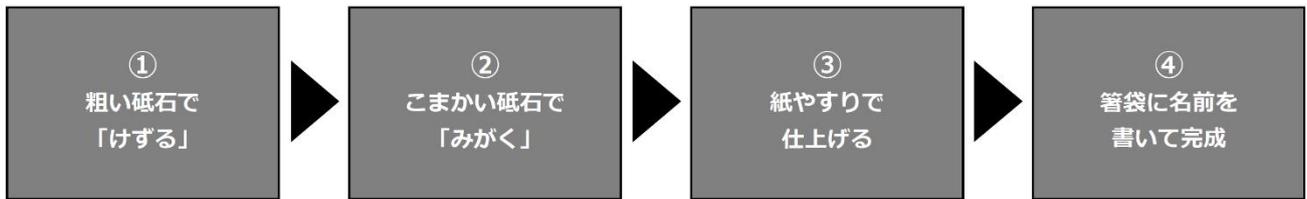
- \* 服装確認とトイレ確認を済ませ、いかだのグループごとに整列し、そろったらお声かけください。
- \* 集合の際、タオル・水筒などの持ち物は、グループごとにまとめて集合場所以外のところに置きましょう。
- \* 交代がある場合、「どのいかだに」「いつ」「誰が乗るか」をあらかじめ決めておき、子どもたちに覚えておくようにさせてください。
- \* スムーズに交代できるよう、時間配分や交代メンバーの待機のさせ方などの工夫をお願いいたします。
- \* いかだを作る際のロープの縛り方に決まりはありませんが、湖上スタッフがアドバイスはおこないます。引率の方もでき具合の確認をしてあげてください。  
縛り方が不慣れな方には、手伝いや声かけをお願いいたします。



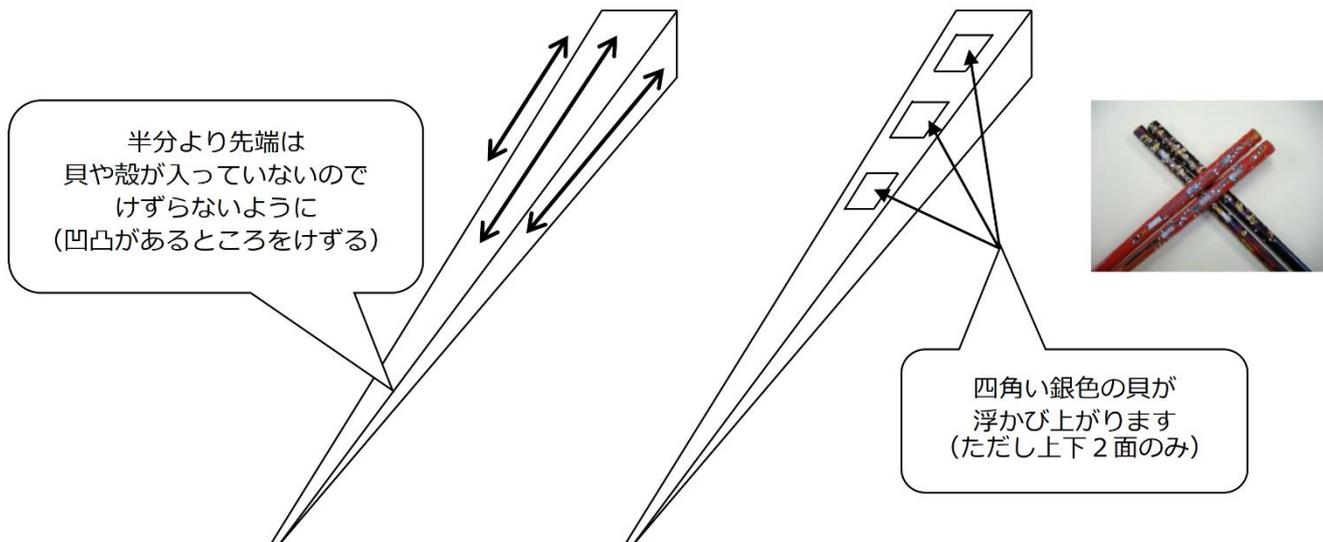
# 若狭塗り箸作り

使う道具 : 箸・砥石・洗面器・ぞうきん・紙やすり・箸袋・色鉛筆

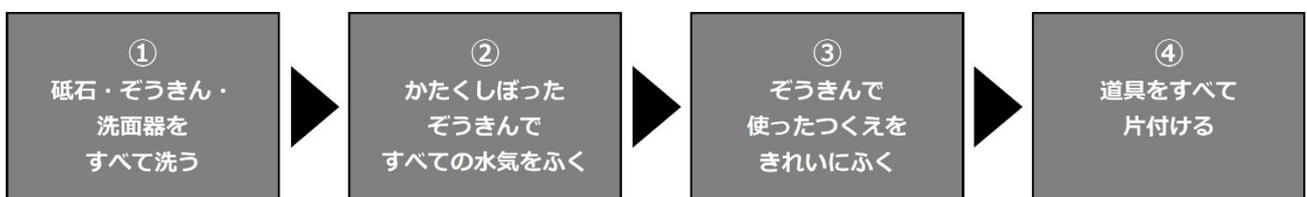
## ●作り方の手順



- ① ・洗面器に5cmほど水を張り、箸、砥石を濡らす。  
・ぞうきんの上に箸を置き、動かないようしっかり押さえながら、粗い砥石でけずる。  
※箸は四角形です。各面に沿ってけずってください。角をけずると元の木が出てきます。  
※箸の半分から先端にかけては、模様が入っていません。けずらないでください。  
※漆は、表面から順に「黒」「赤」「黄」「緑」に塗られています。「緑」が浮かび上がったらけずり  
　　終えて、みがく砥石に切り替えましょう。けずりすぎると漆がはがれて、元の木が出てきてしまいます。  
※けずりカスが箸についていると模様が見えづらいので、箸や砥石は洗面器の水で洗いながらけずってください。
- ② ・貝や殻が出てきたら、こまかい砥石で表面をみがく。  
※表面にアワビの貝殻（銀色、長方形）が3つ出てくる面が2面あります。アワビの貝殻がきれいな長方形として浮かび上がったら、けずり終えてください。
- ③ ・洗面器の水を張り替え、水で濡らしながら紙やすりでみがく。  
※表面のデコボコがなめらかになるように、みがいてください。
- ④ ・使った道具を全て片付けたら、端袋に色鉛筆で名前を記入する。  
※できあがった塗り箸は、他の人のものと区別が付きませんので、注意してください。



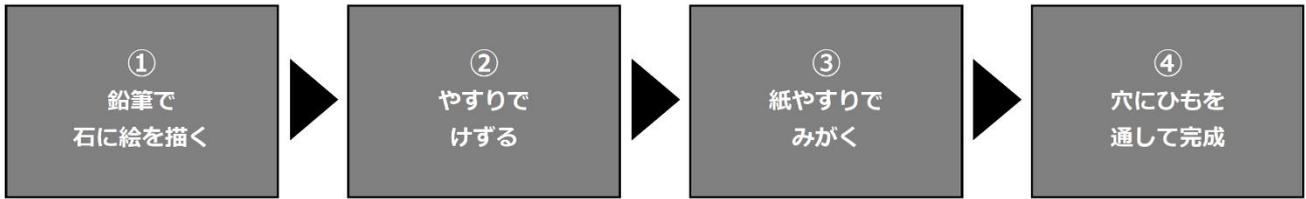
## ●片付けの手順



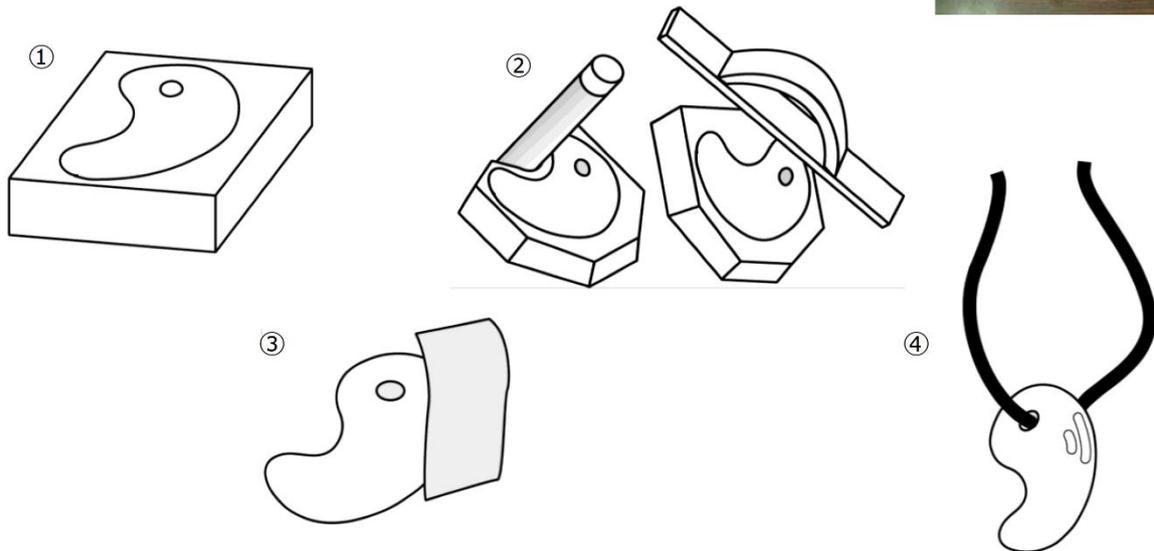
# まが玉作り

使う道具 : 石・やすり (2種類) ・洗面器・ぞうきん・紙やすり・ひも

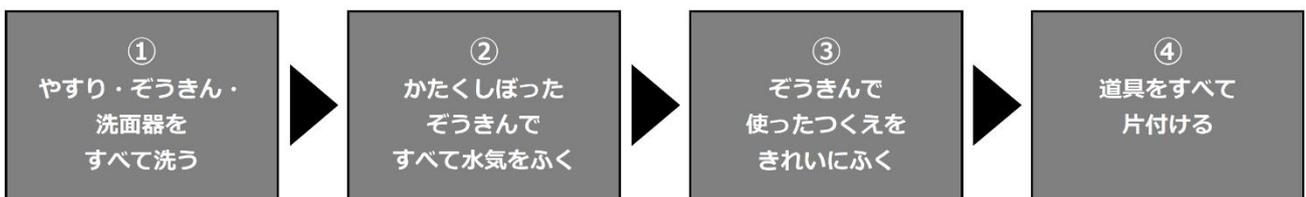
## ●作り方の手順



- ① ・鉛筆で石の表面にできるだけ大きく、好きな絵を描く。  
※石の端から端まで使って、大きく使ってください。小さいと、けずる範囲が多くなり時間がかかります。  
※複雑な形はけずりにくいので、形は大まかなものにしましょう。  
※絵を修正したい場合は、表面をやすりで軽くけずってから改めて描いてください。
- ② ・2種類のやすりを使い、洗面器の中でけずる。  
※やすりでけずると、たくさんの粉末が出ます。喘息等をお持ちの方は、マスクがあれば良いでしょう。  
※けずる形に合わせてやすりの角度を変えたり、2種類のやすりを使い分けてください。  
※できるだけ「角」をなくすようにけずると、仕上がりがきれいになります。
- ③ ・形ができあがったら、洗面器を洗い、水を5cmほど入れる。  
・紙やすりを濡らしながら、石の表面をみがく。  
※紙やすりでみがけばみがくほど、つやが出てきます。  
※もう少しけずりたい箇所があれば、やすりでけずっても構いません。
- ④ ・石の表面がツルツルになったら、穴にひもを通す。  
※ぞうきんで水気をふいておきましょう。



## ●片付けの手順



## 野外炊事（カレーライス）

所要時間（説明～片付け終了）： 2 時間半 ～3 時間

### ●野外料理の注意点

※「包丁やピーラーの刃物」「かまどの火」が最も注意する点です。

扱う本人だけでなく、まわりも気をつけて行動するよう、事前に全員に確認をお願いいたします。

### ●準備物・持ち物

\* 団体としての持ち物：綿100%の軍手（ゴムの滑り止めが付いていないもの）・マッチやチャッカマン・新聞紙など火付け用の紙（うちわは不要です）

\* 服装：汚れても良い服（火を扱う人は長そで・長ズボン）

・・・ナイロン系の衣類は火の粉があたると溶けてしまうので、できるだけ綿100%のものが良い

### ●貸し出し用品

- \* 用具・食器など                    ・・・ 自炊場裏の倉庫（ボートハウス側）にあります。必要分だけ取り出して、使用してください。
- \* 包丁・ピーラー                    ・・・ 事務所で貸し出しをします。（基本1班に2本ずつ）
- \* 薪（太薪・細薪）                    ・・・ 必要分を自炊場に用意いたします。
- \* 洗剤・スポンジ類                    ・・・ 自炊場に備え付けてあります。
- \* ふきん・台拭き                    ・・・ 器材を拭く用のふきんと、テーブル等を拭く用の台拭きは自炊場に準備しています。
- \* 自炊材料（食材）                    ・・・ 食堂にて提供しますので、食堂テラスからグループごとに取りに来てください。食材はグループごとにカゴに入れてお渡しします。調味料がある場合は、まとめて提供いたします。

### ●グループ編成について

- \* 自炊場には、約150名分が調理できる用具・食器があります。
- \* かまどの数は20基あります。
- \* グループは、**8～10名**を目安に編成すると活動がしやすいです。



### ●薪について

- \* 薪は2種類、細薪と太薪があります。細薪は焚き付け用です。新聞 → 細薪 → 太薪の順に、火を移していきます。
- \* 2班で、太薪が2束（600円×2=1,200円）と細薪1束（300円）の合計1,500円が必要だとお考えください。ただし、あくまでも目安ですので、必ず予備費はご準備ください。
- \* 火は上に燃え上がるので、燃え移したいものを上に、空気が入るように薪を組みます。火付け用に使用する新聞紙等は、あまり多く入れると空気が入りにくくなり、また灰が多く立ち上がりますので、ご注意ください。
- \* 薪をしぼっているバンドは円のまま回収します。切らないようお願いいたします。

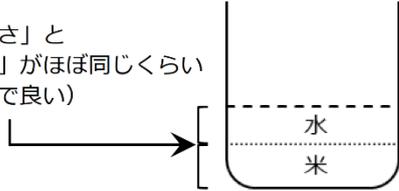


↑ 薪組みの例 ↑

## ●調理の手順

- ① ・鍋は2種類あり、米は寸胴鍋、カレーは段付き鍋で作る。
- ② ・野菜を洗い、細かく切る。  
※野菜はできるだけ細かく切っておくと、火の通りが早く短時間で調理できます。  
・肉と野菜を段付き鍋に入れたら、具材のひたひたまで水を入れる。  
※肉は炒めると鍋に焦げ付きやすいので、野菜と一緒に水から煮込んでください。（油はありません）  
※水が多すぎるとカレールウが足りなくなりますので、**最初は水を少なめに**しましょう。  
ルウを入れた後で水の調節はできます。  
・米をザルで洗い、寸胴鍋に入れる。  
※水加減は、米1に対して水1.2~1.5です。軽量カップはありませんので、**「鍋の底~米の高さ」と「米~水面の高さ」がほぼ同じくらい**になるようにします。



- ③ ・食材の準備ができたなら火をおこす。  
※先に火をおこしてしまうと、鍋の準備ができるまで薪を無駄に使用してしまうことになり、追加の薪が必要となってきますのでご注意ください。  
「鍋の底~米の高さ」と「米~水面の高さ」がほぼ同じくらい（水が少し少なめで良い）  

- ④ ・かまどに鍋をかける。  
※カレーは、野菜が柔らかくなるまで蓋をしておきます。途中でかたさのチェックをしましょう。  
※野菜がやわらかくなったら、ルウを入れます。ルウを入れた後は焦げ付きやすいので、火を弱め、できあがるまでかき混ぜてください。  
※米の炊き加減は、グツグツと沸騰し水蒸気が吹き出したら、少し火から遠ざけます。  
しばらくすると水蒸気が少なくなるので、蓋を取って米粒のかたさチェックをします。  
まだ芯が残っていれば、水を少し入れ再び火にかけます。芯がなければ、火からおろし、10分ほど蓋をしたまま蒸らしておきます。
- ⑤ ・火にかけている間に、もう使わない器具の片付けや、食べるテーブルやイスの準備をする。  
・お茶の準備をする。  
※お茶が必要な場合は、ヤカンを持って食堂テラスまで取りに来てください。寸胴にお茶が入れてありますので、各自でヤカンに移してください。ヤカンは、自炊倉庫にあります。  
※**ヤカンは火にかけないよう**にお願いいたします。
- ⑥ ・できあがったら、鍋を調理台におろす。  
※かまどから鍋をおろす時は、必ず大人の方がおこなってください。  
軍手1枚では火傷をします。軍手を2~3枚重ねるか、皮手袋を使ってください。  
※必ず鍋敷きの上に鍋を置いてください。

## ●あと片付けと返却

- \*使用した器具や食器はきれいに洗い、ふきんで水気を拭き取り、乾燥させる。  
※スタッフがチェックをしますので、先に倉庫に片付けないようにしてください。  
※**焦げや洗い残しがある場合は、再度洗っていただきます。**
- \*かまどはホウキとチリトリを使って掃除する。  
※かまどに水をかけると破損する恐れがありますので、**水は絶対にかけないでください。**  
※残炭は残炭処理場に捨ててください。
- \*ゴミは、燃えるゴミ（生ゴミ・容器・ビニール袋等）と燃えないゴミ（カン・ペットボトル）に分ける。  
※生ゴミは水気を取ってから捨てましょう。  
※集めたゴミは、ゴミステーションに捨ててください。燃えるゴミは**必ず高島市指定のゴミ袋を使用してください。**  
※カン・ペットボトルは、中を水洗いしてから捨てましょう。（ピンは回収できません）
- \*余った薪は、自炊場の端にまとめておく。
- \*自炊材料が入ったカゴや余った食材は、食堂に返却する。
- \*包丁・ピーラーは、事務所に返却する。

# 提出書類の記入例【様式1：使用申込書】

【学校団体】

【様式1】

## 【記入例】びわ湖青少年の家 使用申込書

提出期限：ご利用日の1ヶ月前まで

◆太枠内をご記入ください。

ふりがな		たかしましりつびわこしょうがっこう		申込日	年	月	日
学校名	高島市立びわ湖小学校	5	年	ふりがな	たかしま びわこ		
住所	〒520-1121 滋賀県高島市勝野〇〇-〇〇			代表者名	高島 びわ子		
連絡先	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			メールアドレス	〇〇〇@〇〇〇〇.jp		
FAX	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			使用日	2019年6月20日(火)～6月21日(水)まで(1泊2日)		
使用日	2019年6月20日(火)～6月21日(水)まで(1泊2日)			入所時間	11:00	退所時間	13:30

メールアドレスを記入された場合は、メールにてご連絡させていただきます。

宿泊部屋の入室・退室時間ではなく、施設への入所時間・施設からの退所時間をご記入ください。

◆宿泊人数・・・日

日帰り人数・・・日ごとの日帰り人数をご記入ください。

区分	6/20 (火)		6/21 (水)		/ ( )	
	男	計	男	計	男	計
児童・生徒	男 22	計 45 名	男	計	男	計
	女 23		女		女	
引率教員	男 2	計 4 名	男	計	男	計
	女 2		女		女 1	
カメラマン	男 1	計 1 名	男	計	男	計
	女		女			
その他	男	計 1 名	男	計	男	計
	女 1		女		女	
合計	51 名					

宿泊する日にちごとに宿泊人数を記入します。合計は、宿泊者全員の人数をご記入ください。

日帰りの方がいらっしゃる場合は、その日ごとの日中利用人数をご記入ください。

◆付帯施設（体育館・大研修室・中研修室）

◆プログラム

付帯施設	日付	時間	プログラム内容	人数	日付	時間
体育館（雨天のみ）	6/20 (火)	12:30～15:30	まが玉	45 名	6/21 (水)	9:00～
中研修室	6/20 (火)	21:30～22:00		名	/ ( )	: ~
	/ ( )	: ~ :	カッタープログラム		6/20 (火)	12:30～
	/ ( )	: ~ :	※3艇以上は2交代になります。		/ ( )	: ~
	/ ( )	: ~ :		1艇	2艇	3艇
自炊場	6/20 (火)	16:00～19:00	児童・生徒	22 名	23 名	名
			引率	2 名	2 名	名
			合計	24 名	25 名	名
キャンプ ファイヤー場			救助艇乗船	2 名		名

救助艇にどなたも乗られない場合は空欄で結構です。

支払い方法

使用料等は、**現金**・**振込**で支払う。 ※どちらかに○をつけてください。

請求書・領収証をわけの場合は、備考欄にわけ方と宛名を必ずご記入ください。

振込の場合は、利用後1週間以内のご入金をお願いします。

備考

請求書・領収証を以下の4枚にわけてください。

児童宿泊費・・・振込 宛名：高島市立びわ湖小学校  
 児童補食費・・・現金 宛名：高島市立びわ湖小学校PTA  
 引率教員・・・現金 宛名：高島市立びわ湖小学校  
 看護師・・・現金 宛名：高島市立びわ湖小学校

請求書・領収証をわけられる場合は、わけ方と宛名を必ずご記入ください。

# 提出書類の記入例【様式2：食事申込書】

【学校団体】

【様式2-1】

## (記入例) びわ湖青少年の家 食事申込書①

提出期限：ご利用日の1ヶ月前まで

◆太枠内をご記入ください。

学校名 <b>高島市立びわ湖小学校</b>
2019年 6月 20日(火) ~ 6月 21日(水) まで(1泊 2日)

★食事時間は以下の時間内で設定してください。

朝食	7:30~9:00	弁当提供	10:30~12:30
昼食	11:30~13:00	自炊材料	昼 9:30~
夕食	17:15~19:00		夕 15:30~

◆食事予定(ご希望の食事内容に○をつけてください)

	1日目 6月 20日(火)	2日目 6月 21日(水)	3日目 月 日( )																
朝食	提供時間	7:30	提供時間																
	食事/弁当/自炊(提供/持込)	食事/自炊(持込)	食事/自炊(持込)																
	食数	<table border="1"> <tr><td>児童・生徒</td><td>45</td></tr> <tr><td>引率教員</td><td>4</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>51</td></tr> </table>	児童・生徒	45	引率教員	4	その他	2	計	51	<table border="1"> <tr><td>児童・生徒</td><td></td></tr> <tr><td>引率教員</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td></tr> </table>	児童・生徒		引率教員		その他		計	
	児童・生徒	45																	
引率教員	4																		
その他	2																		
計	51																		
児童・生徒																			
引率教員																			
その他																			
計																			
備考																			
昼食	提供時間	11:30	提供時間																
	食事/弁当/自炊(提供/持込)	食事/弁当/自炊(提供/持込)	食事/弁当/自炊(提供/持込)																
	食数	<table border="1"> <tr><td>児童・生徒</td><td>45</td></tr> <tr><td>引率教員</td><td>5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>52</td></tr> </table>	児童・生徒	45	引率教員	5	その他	2	計	52	<table border="1"> <tr><td>児童・生徒</td><td></td></tr> <tr><td>引率教員</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td></tr> </table>	児童・生徒		引率教員		その他		計	
	児童・生徒	45																	
引率教員	5																		
その他	2																		
計	52																		
児童・生徒																			
引率教員																			
その他																			
計																			
備考	児童は持込弁当																		
夕食	提供時間	16:00	提供時間																
	食事/自炊(提供/持込)	持込自炊(提供/持込)	食事/自炊(提供/持込)																
	食数	<table border="1"> <tr><td>児童・生徒</td><td>45</td></tr> <tr><td>引率教員</td><td>4</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>51</td></tr> </table>	児童・生徒	45	引率教員	4	その他	2	計	51	<table border="1"> <tr><td>児童・生徒</td><td></td></tr> <tr><td>引率教員</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td></tr> </table>	児童・生徒		引率教員		その他		計	
	児童・生徒	45																	
引率教員	4																		
その他	2																		
計	51																		
児童・生徒																			
引率教員																			
その他																			
計																			
備考																			

※他団体等との兼ね合いにより、お食事の内容がご希望に添えないことがあります。予めご了承ください。

◆弁当(ご希望の弁当に○をつけてください) ★1団体1種類でご注文ください。

唐揚げ弁当/豚生姜焼き弁当/ハンバーグ弁当	唐揚げ弁当/豚生姜焼き弁当/ハンバーグ弁当
6食 6月 20日 11:30 提供	食 月 日 : 提供

◆提供自炊(ご希望のメニューに○をつけてください) ★班の人数と班数をご記入ください。

カレーライス/焼きそば/BBQ/炊き米	提供
51食(合) 6月 20日 16:00 提供	提供
7名×3班 8名×3班 引率6名×1班	名×班 名×班 名×班
名×班 名×班 名×班	名×班 名×班 名×班

班の人数は、職員・指導員も含めた人数をご記入ください。

◆補食(ご希望の補食に○をつけてください) ★できるだけまとめてご注文ください。食事としてのご提供はできません。

パン	あんパン/メロンパン/デニッシュ	個	月 日 : 提供
ジュース	オレンジ/アップル/グレープ	45個	6月 20日 15:30 提供
アイス	バニラ/モナカ/みぞれ/かき氷	個	月 日 : 提供

# 提出書類の記入例【様式 3-1：利用日程表①】

【学校団体】

【様式3-1】

## (記入例) びわ湖青少年の家 利用日程表① (1・2日目)

◆太枠内をご記入ください。

提出期限：ご利用日の1ヶ月前まで

学校名 <b>高島市立びわ湖小学校</b>		2020年 9月 3日 (水) ~ 9月 5日 (金) まで (2泊 3日)			
時間	プログラム内容	希望場所	雨天	希望場所	
3 日 (水)	11:00 入所 弁当 (持込)	浜 浜	弁当 (持込) スポーツ大会	体育館 体育館 大研修室	
	12:00 入所式				
	13:00 湖水浴				
	15:00 外シャワー・着替え	外更衣室			
	16:00 野外炊事				自炊場
	19:30 入浴	中研修室			
	21:00 班長会議				
	21:30 就寝				
	22:00 職員ミーティング				
	4 日 (木)	6:30 起床	体育館		体育館
7:00 体操					
7:30 朝食		体育館		体育館	
9:00 カッター1組2組 × まが玉作り					
12:00 昼食		体育館	自炊場	まが玉作り × スポーツ大会	体育館
13:15 カッター3組 × まが玉作り					
16:30 スタンツ練習		体育館・浜			
17:30 夕食					
19:00 キャンプファイヤー (薪組希望)		浜		キャンドルファイヤー	体育館
20:00 入浴					
21:00 班長会議		中研修室			
21:30 就寝					
22:00 職員ミーティング					
<b>利用交通機関 (当てはまる所に○してください)</b>					
電車+徒歩 <b>貸切バス</b> ( 2 台) ※大型バスは留置できません。 ・ 自家用車 ( 台) ※3台までです。					
<b>記入上のお願い</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設への入所時間・施設からの退所時間を、必ずご記入ください。</li> <li>宿泊部屋への入室は「15時から」、退室は「10時まで」となっており</li> <li>食堂でのお食事は、以下の時間内に片づけまで終了できるように設定し、以降に提供できます。</li> </ul>					
朝食	7:30~9:00	昼食	11:30~13:00		
弁当提供	10:30~	自炊材料提供	昼 9:30~ 夕 15:30~		
<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴時間は、16時~22時までの間で希望時間をご記入ください。(他の利用者様のご希望時間と調節後、ご連絡致します)</li> <li>雨天時のプログラムも必ずご記入ください。</li> <li>自主運営が基本ですが、スタッフによる野外炊事の説明や薪組などを希望される場合は、プログラム欄にその旨を必ずご記入ください。</li> </ul>					

雨天プログラムも必ずご記入ください。

湖上プログラムやクラフトプログラムは施設スタッフがつきます。それ以外で、施設スタッフによる説明や薪組等が必要な場合は、必ずその旨をご記入ください。

大型バスは留め置きができません。正門までの送迎をお願いします。マイクロバスでしたら、グラウンドに留め置くことができます。

# 提出書類の記入例【様式 3-2 : 利用日程表②】

【学校団体】

【様式3-2】

## びわ湖青少年の家 利用日程表②（3日目以降用）

◆太枠内をご記入ください。

提出期限：ご利用日の1ヶ月前まで

学校名		2020年 9月 3日（水）～			
高島市立びわ湖小学校		9月 5日（金）まで（2泊 3日）			
時間	プログラム内容	希望場所	雨天	希望場所	
5 日  ( 金 )	6:30	起床	浜	塗り箸作り	体育館
	7:00	体操			
	7:30	朝食	外更衣室		
		着替え・荷物移動			
	9:30	いかだ作り			
	12:00	昼食			
	13:15	退所式	浜		体育館
13:30	退所				
:					
:	就寝				
日	:	起床			
	:				
	:				
	:				
	:				
	:				

プログラム時間や、入浴・食事時間等が他団体様と重複した場合は、こちらで調整させていただきます。

### 記入上のお願い

- 施設への入所時間・施設からの退所時間を、必ずご記入ください。
  - 宿泊部屋への入室は「15時から」、退室は「10時まで」となっております。
  - 食堂でのお食事は、以下の時間内に片づけまで終了できるように設定してください。弁当・自炊材料食材は以下の時間以降に提供できます。
- |      |           |        |             |          |             |
|------|-----------|--------|-------------|----------|-------------|
| 朝食   | 7:30～9:00 | 昼食     | 11:30～13:00 | 夕食       | 17:15～19:00 |
| 弁当提供 | 10:30～    | 自炊材料提供 | 昼 9:30～     | 夕 15:30～ |             |
- 入浴時間は、16時～22時までの間で希望時間をご記入ください。  
(他の利用者様のご希望時間と調節後、ご連絡致します)
  - 雨天時のプログラムも必ずご記入ください。
  - 自主運営が基本ですが、スタッフによる野外炊事の説明や薪組などを希望される場合は、プログラム欄にその旨を必ずご記入ください。



# 提出書類の記入例【様式4：部屋割り表】

【学校団体・青少年団体・一般団体・ファミリー】

【様式4】

## (記入例) びわ湖青少年の家 部屋割り表

◆太枠内をご記入ください。

提出期限：ご利用日の2週間前まで

学校・団体名 <b>高島市立びわ湖小学校</b>	2019年 6月 20日(火) ~ 6月 21日(水)まで(1泊 2日)
-----------------------------	---

**【A棟】**      校長室    カメラマン

1階	101	102	103	104	小研修室				
	男/女 名	男/女 名	男/女 名	男/女 名	男/女 名				
2階	201	指導員室	202	203	204	205	206	207	208
	男/女 名								

職員室

男女をわける場合は、必ずどちらかに○をつけてください。  
男女の割合により、浴室の男女を変更する場合があります。

**【B棟】**

2階	211	212	213	214	215	216	217	218	219	指導員室
	男/女 名									

保健室    職員室

職員室・保健室等で使用される場合は、その旨もご記入ください。

\* 使用する部屋すべてにご記入ください。  
\* 男/女を分けられる場合は、どちらかに○をつけてください。  
\* 他団体等との兼ね合いにより、部屋割りを調整させていただく場合がございます。  
\* 各部屋の定員数は、以下の通りです。ご利用は定員内をお願いします。

101	102	103	104	104	小研修室				
5名(予備)	5名	5名	5名	5名	10名				
201	A指導員室	202	203	204	205	206	207	208	
7名	7名	8名	8名	8名	8名	8名	8名	8名	
211	212	213	214	215	216	217	218	219	B指導員室
11名	8名	8名	8名	8名	7名	7名	7名	7名	6名

\* 保健室・職員室等で宿泊なしで使用される場合は、その旨もご記入ください。

各部屋の宿泊数は、定員数を超えないようにご注意ください。

# 提出書類の記入例【様式5：アレルギー対応シート】

【学校団体・青少年団体・一般団体・ファミリー】

【様式5】

## (記入例) びわ湖青少年の家 アレルギー対応シート

◆太枠内をご記入ください。

提出期限：ご利用日の2週間前まで

学校／ 団体名	株式会社linkworks	送信日	4月15日(土)
利用日	5月3日～5月5日	送信者	琵琶湖 太郎
メニュー	食事 / 自炊 / 弁当	連絡先	(TEL) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (FAX) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

ふりがな	たかしま はなこ	連絡先	(TEL) △△△-△△△-△△△△
氏名	高島 花子		(FAX) 同上
ふりがな	たかしま かずお		
保護者名	高島 和男		

※保護者の方に担当の者から連絡させて頂く場合がございます。必ず連絡先をご記入ください。必ず連絡先をご記入ください。必ず連絡先をご記入ください。

### ①アレルギーの種類・程度

※調理器具・  
反応

■当てはまる欄に「○」と「具体的な食品名」をご記入ください

アレルギー強度が高い、または複雑な場合は保護者の方に確認のお電話またはFAXをすることがあります。プライバシーの問題で記入できない場合は、未記入で結構です。代表者の方(送信者)に確認いたします。

アレルギー 強度	0	1	2	3	4
	問題なく 食べられる	その食品そのものだけ 食べられない	その食品を使った加工品 食べられない	その食品が成分として使用されている 調味料や食品までもが食べられない	調理器具・食用油・製造ラ インの共有ができない
卵	○	食品名 (例：生卵)	食品名 (例：卵焼き)		
乳		食品名 (例：牛乳)	食品名 (例：ヨーグルト・クリームコロッケ)	○ 乳糖はOK (例：カレールウ・ウインナー・ドレッシング)	
小麦		食品名 (例：パン・うどん)	食品名 (例：フライ・シチュー)	○ 調味料はOK (例：味噌・醤油・ドレッシング)	
大豆	○	食品名 (例：豆腐)	食品名 (例：うすあげ)	食品名 (例：味噌・醤油・マーガリン・油)	
そば		食品名	食品名 (例：そば)	○ こしょう (例：こしょう・ふりかけ)	
落花生	○	食品名 (例：ピーナッツ)	食品名		
エビ		食品名 エビのもの (例：生エビ)	食品名 (例：エビフライ)		
カニ	○	食品名	食品名 (例：カニコロッケ)	食品名 (例：カニかまぼこ)	

アレルギーの強度が1～3の場合は、「食品名」の欄に食べられない食品をご記入ください。たくさんある場合は、「〇〇はOK」等の書き方も大丈夫です。

■上記以外のアレルギー成分があれば、当てはまる欄に「○」と「具体的な食品名」をご記入ください。

アレルギー 強度	0	1	2	3	4
	問題なく 食べられる	その食品そのものだけ 食べられない	その食品を使った加工品も 食べられない	その食品が成分として使用されている 調味料や食品までもが食べられない	調理器具・食用油・製造ラ インの共有ができない
キウイ		○ 生のキウイ	食品名	食品名	
		食品名	食品名	食品名	
		食品名			
		食品名			

アレルギーだけでなく、「きざみ食」のご希望等もご記入ください。担当者と内容を確認の上、対応できるかどうかお返事いたします。

### ②その他 対応して欲しい事や連絡先

薬とエピペン持参します。

◆施設記入欄

# 提出書類の記入例【食堂座席表】

【学校団体】

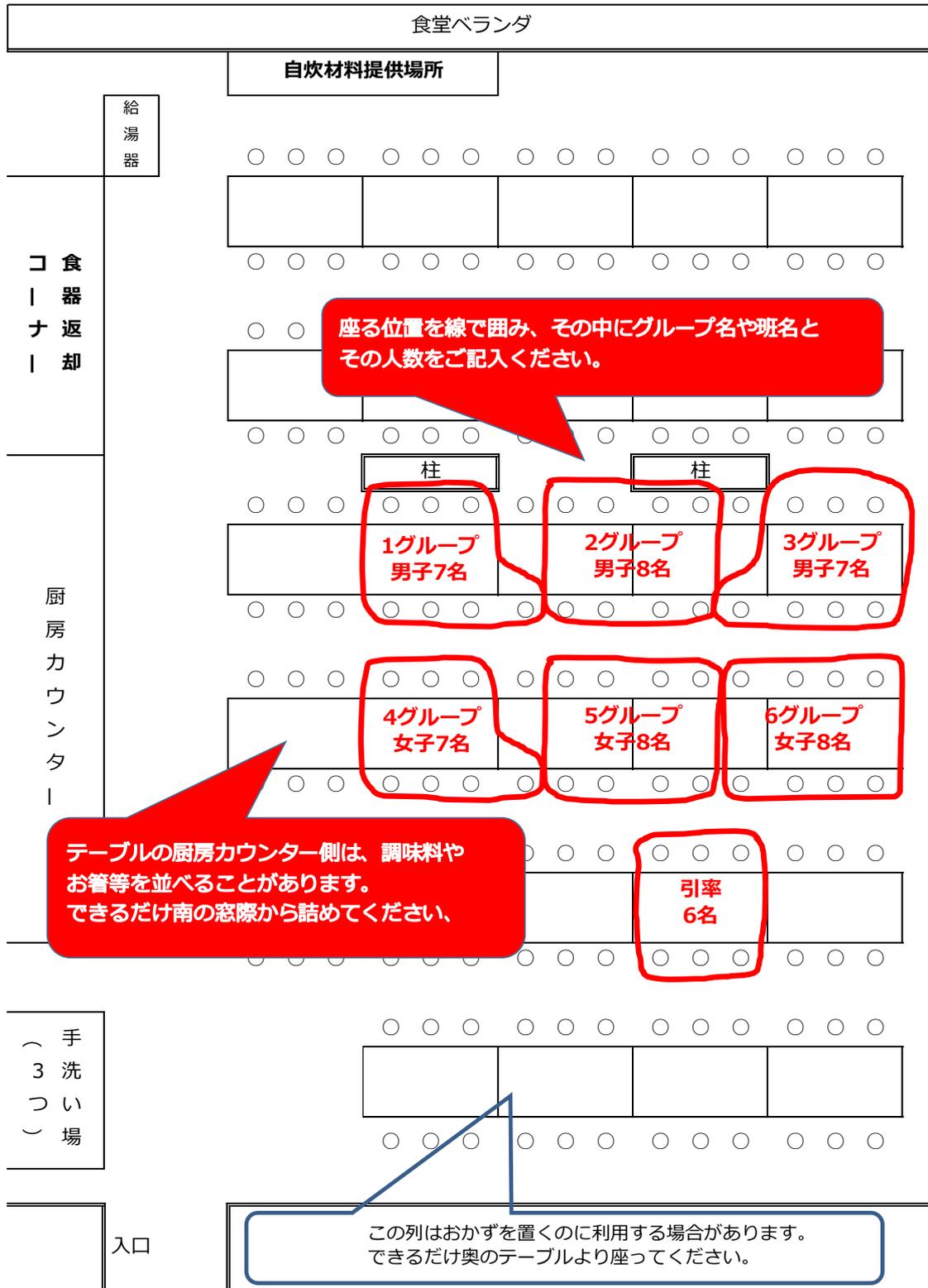
【様式7】

## (記入例) びわ湖青少年の家 食堂座席表

◆太枠内をご記入ください。

学校名 <b>高島市立びわ湖小学校</b>	2019年 6月 20日 ( 火 ) ~ 6月 21日 ( 水 ) まで ( 1泊 2日 )
--------------------------	---

浜 (東)

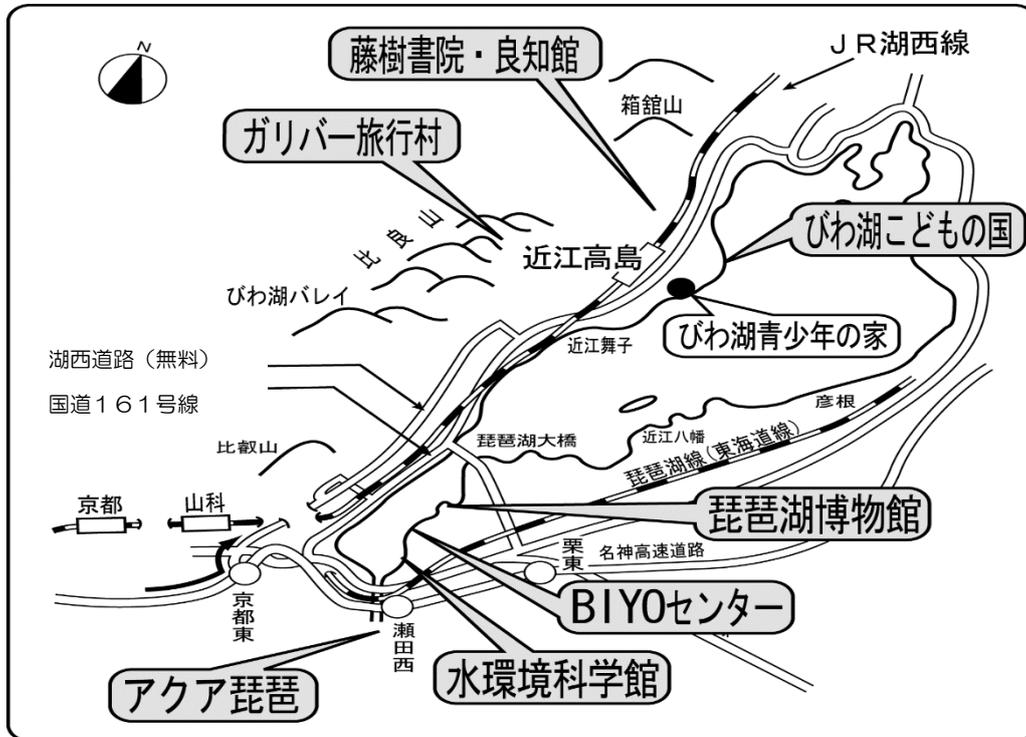


## 他施設のご案内

施設までの往復に貸し切りバスを利用される場合は、入所までの時間などに他施設を利用することも可能です。ここでは滋賀県内でおすすめの施設をご紹介します。

(施設内容や料金などの詳細は、各施設にお問い合わせください)

### ( 周 辺 図 )



滋賀県立 琵琶湖博物館 077-568-4811 月曜及び祝日の翌日休館

びわ湖にかかわる歴史・自然・生物・暮らし・環境などについて、さまざまな展示があり、体験型博物館として大変魅力的な施設で、環境学習の場としてとくにおすすめです。

滋賀県立 びわ湖こどもの国 0740-34-1392 3月～11月は無休

びわ湖青少年の家から車で10分ほどの場所にあります。広大な敷地に芝生の広場や遊具などがあり、お弁当を食べるのにぴったりです。

藤樹書院・良知館 0740-32-4156 年中無休

高島市安曇川町は日本陽明学の始祖である中江藤樹の生誕地です。藤樹は自らが学んだ学問を一般庶民にも広め、「近江聖人」と呼ばれました。その教えには親や目上の人を敬い、他人に対して思いやりを持つなど、現代の人間教育にも通ずるものがあるため、近年再び見直されています。藤樹書院は、藤樹の教えを受け継ぐ門弟や村人たちによって建てられたもので、現存のものは明治時代に再建された建物です。良知館は書院の隣に建つ施設で、藤樹の生涯や教えを分かりやすく学ぶことができます(無料)

---

ガリバー青少年旅行村 0740-36-2001 開村期間 4月1日～11月30日

---

びわ湖青少年の家から車で30分ほど山あいへ入ったところにある、木立に囲まれた施設です。いろいろな遊具で遊べます。

---

アクア琵琶 077-546-7348 火曜休館(祝日の場合は翌日)

---

びわ湖の出口「南郷洗い堰」のそばにある、びわ湖の「治水・利水」をテーマにした施設です。展示物のほかにも、びわ湖をめぐりながらクイズに挑戦する映像ホールなどがあり、楽しく学べるよう工夫されています。(無料)

---

滋賀県立 水環境科学館 077-567-2488 月曜及び休日の翌日休館

---

「下水道」のしくみを中心として、水と人の生活とのかかわりについて学ぶことができる施設です。(無料)

※各施設を団体で利用する際は、事前に予約が必要です。また、入館料などが変更になることもありますので、必ず下見をおこなってください。

『アクア琵琶』・『琵琶湖博物館』・『水環境科学館』へお寄りになる場合は、大阪から名神高速を利用して「瀬田西インター」で下り、見学後、びわ湖青少年の家へは琵琶湖大橋を渡る道順が便利です。